

令和元年度 埼玉県警察県民意識調査報告書

[概要版]

目 次

1 最近の犯罪発生状況 P.2	16 公共空間における防犯カメラの設置の賛否 . . P.14
2 今後の犯罪発生状況 P.2	17 少年非行について P.14
3 日頃不安を感じる犯罪 P.3	18 少年非行に関する出来事で不安を感じること . P.15
4 地域の交番・駐在所の認知度 P.4	19 少年非行防止に有効な活動 P.16
5 警察官の訪問状況 P.4	20 交通事故に遭った経験 P.17
6 警察官のパトロールを見た経験 P.5	21 交通安全運動への見学・参加経験 P.18
7 交番や駅付近等に立つ警戒中の警察官を見た経験 . . P.5	22 交通事故を防ぐための効果的な方策 P.19
8 交番や駐在所の警察官に強化して欲しい活動 P.6	23 信号機のない横断歩道での事故防止対策 . . . P.20
9 犯罪被害に遭う心配の度合い P.7	24 高齢者の事故防止対策 P.21
10 街頭で犯罪の被害に遭わないために気をつけていること P.8	25 自転車が事故に遭わないための対策 P.21
11 家に侵入する泥棒被害に遭わないためにしていること P.9	26 埼玉県警察の活動についての印象 P.22
12 特殊詐欺と思われる電話の経験 P.10	27 埼玉県警察の活動に満足している理由 P.23
13 特殊詐欺の被害に遭わないため、日頃からしている対策 P.11	28 埼玉県警察の活動が不満である理由 P.24
14 インターネット利用時に不安を感じるサイバー犯罪等 . . P.12	29 警察職員と接した経験 P.25
15 生活の安全や安心に効果的なこと P.13	



はじめに

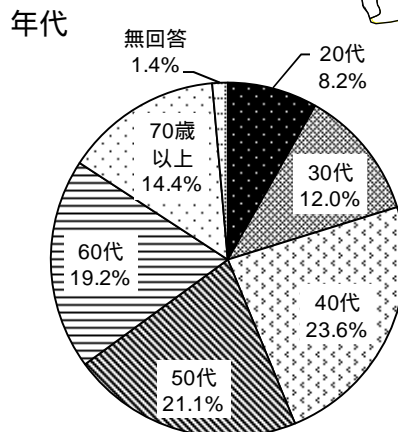
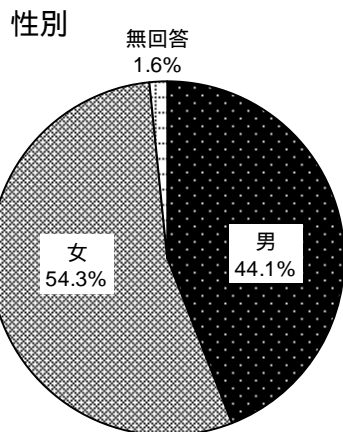
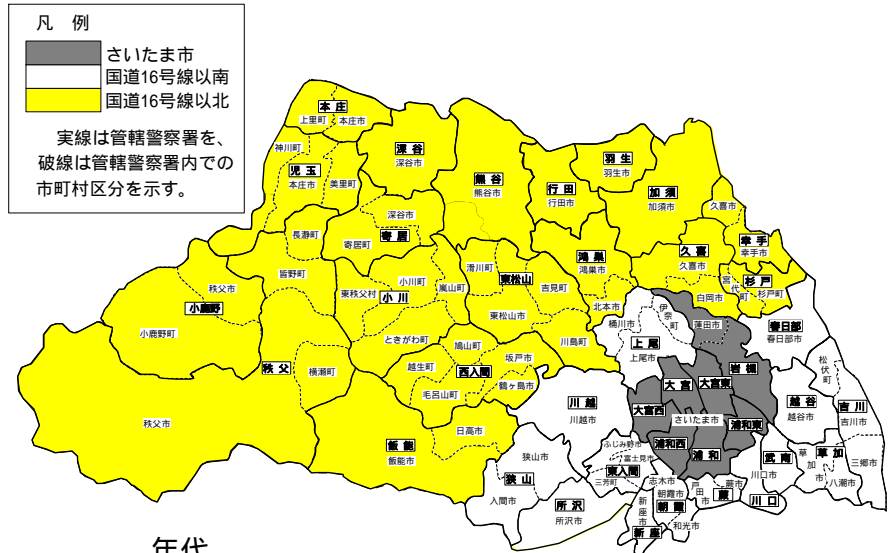
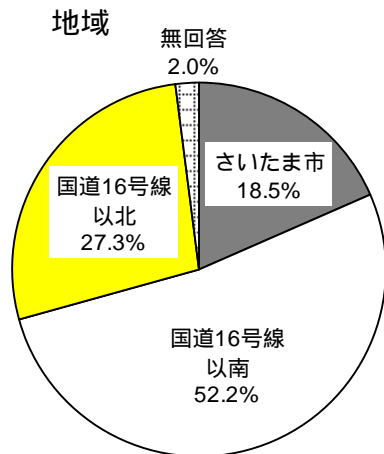
本冊子は、県民の皆様の御意見・御要望を反映させた「安全で安心して暮らせるまちづくり」の活動を推進していくため、令和元年7月に県民の皆様の御協力により実施した県民意識調査の結果を抜粋した概要版です。

県警察では、これらの結果を踏まえ、総合力を発揮した警察活動を推進し、治安の回復に努めてまいります。

調査概要

- ・調査地域：埼玉県全域
- ・対象者：満20歳以上の男女個人
- ・対象者数：4,500人
- ・調査方法：郵送配布 - 郵送回収法
- ・回収数：2,276
- ・回収率：50.6%
- ・調査時期：令和元年7月12日～7月31日

回答者の属性



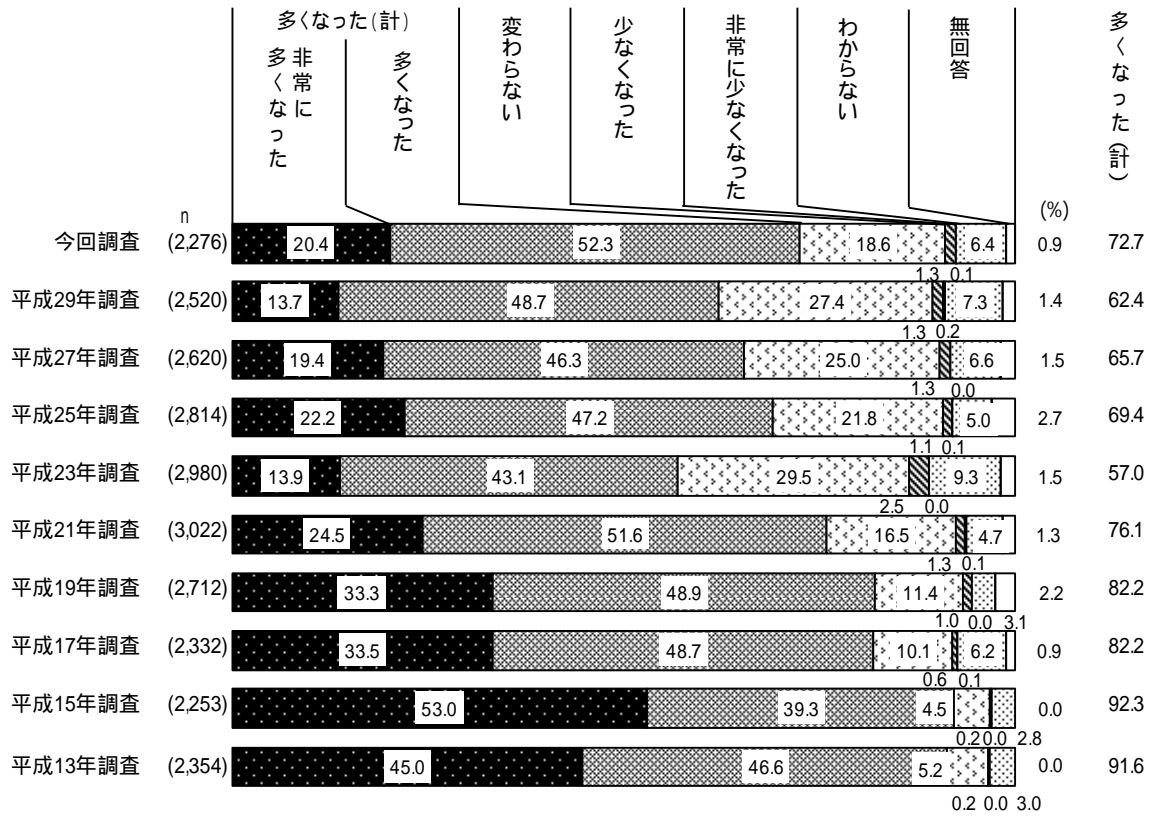
概要版の見方

- ・結果は百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%に満たない、または上回ることがある。なお、回答者を絞った枝問では、質問該当者を100%とするのを原則としている。
- ・複数回答の設問では、回答の合計を回答者の合計で割った比率を用いているため、100%を上回ることがある。

1 最近の犯罪発生状況

多くなった が72.7%。平成29年と比べて10.3ポイント増加。

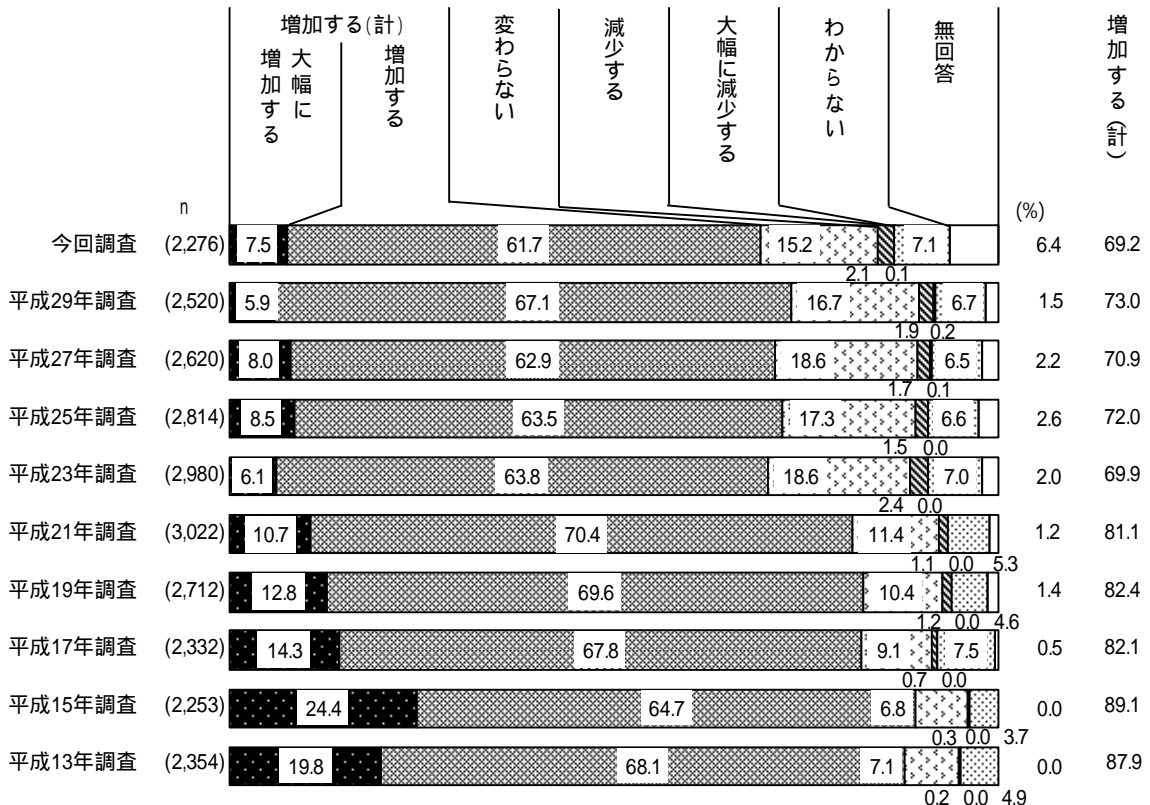
あなたは、最近（この1年くらい）の犯罪発生状況についてどのように感じていますか。【1つだけ】



2 今後の犯罪発生状況

増加する が69.2%。平成29年と比べて3.8ポイント減少。

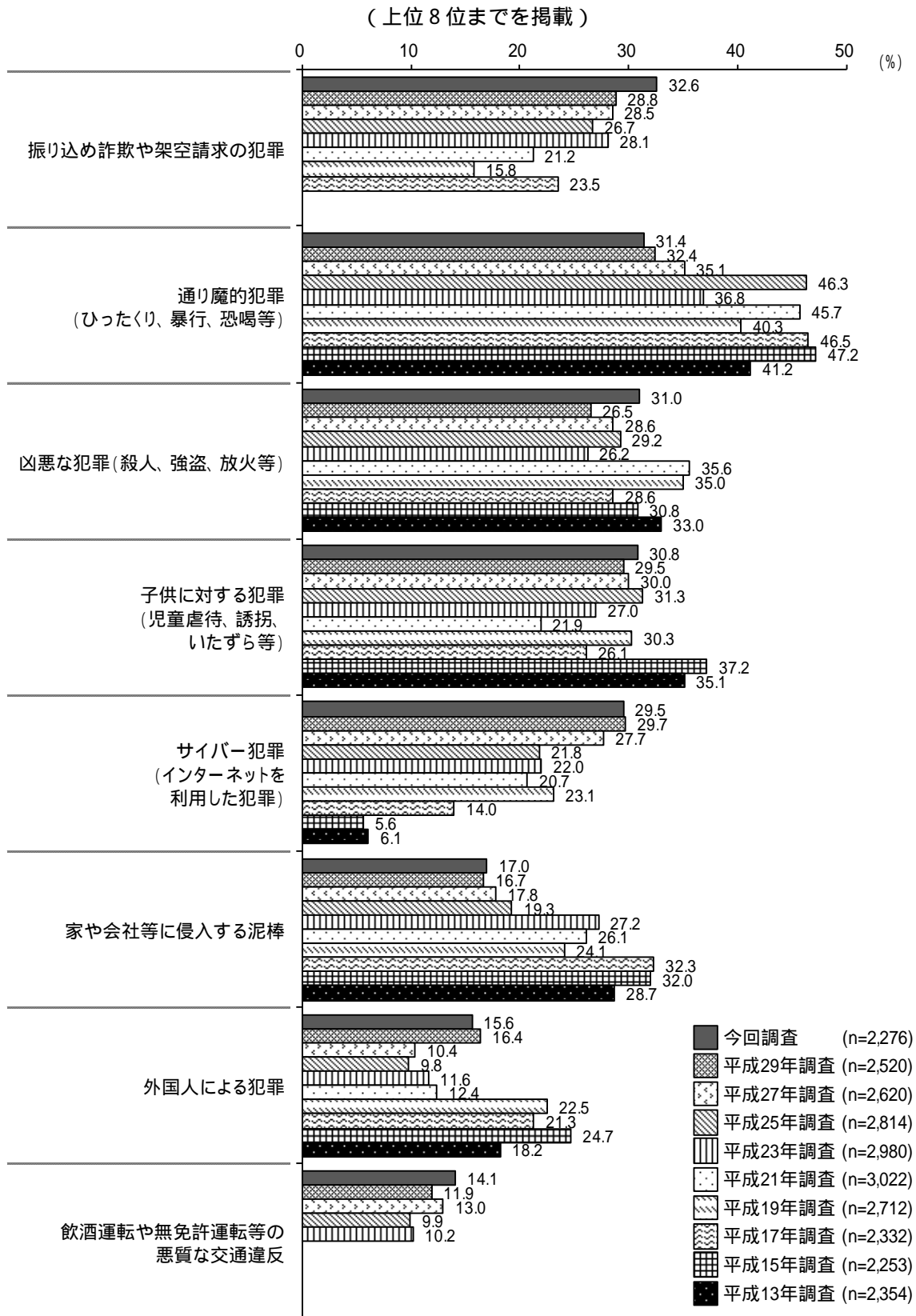
あなたは、今後の犯罪発生状況はどうかと思いますか。【1つだけ】



3 日頃不安を感じる犯罪

「振り込め詐欺や架空請求の犯罪」が32.6%。

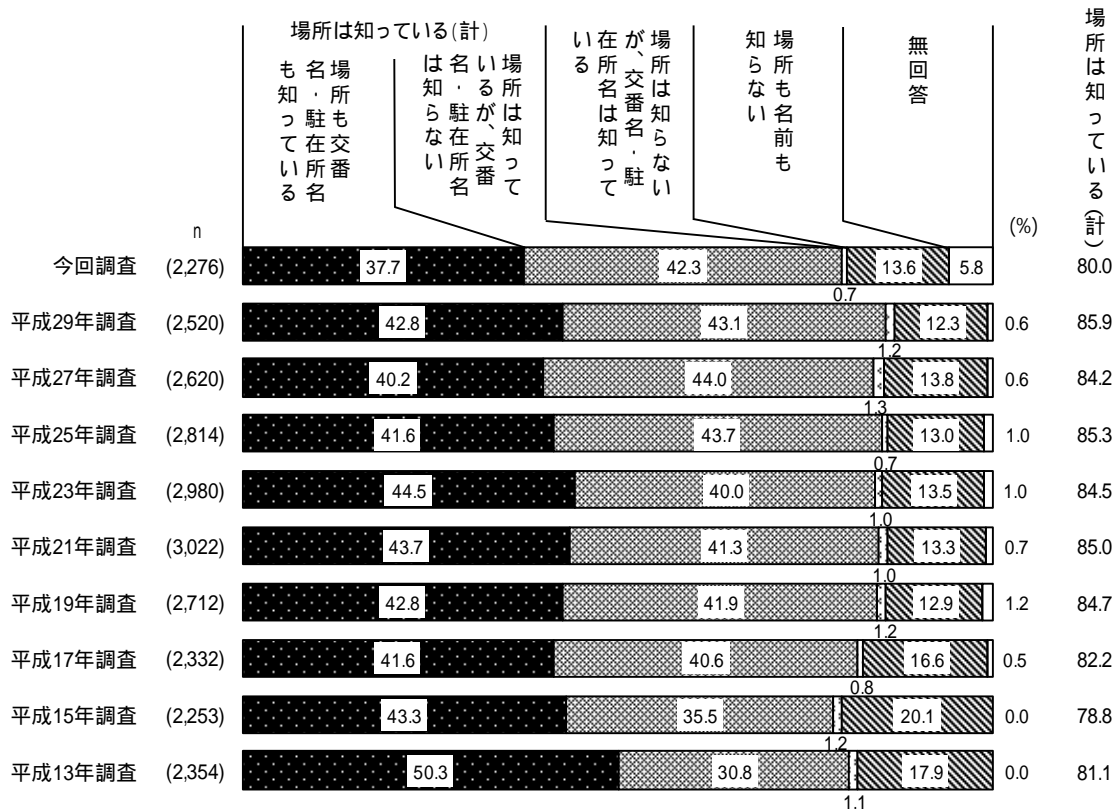
あなたは、日頃、どのような犯罪に対して不安を感じますか。【最も当てはまるもの3つまで】



4 地域の交番・駐在所の認知度

場所は知っている が 80.0%。平成 29 年と比べて 5.9 ポイント減少。

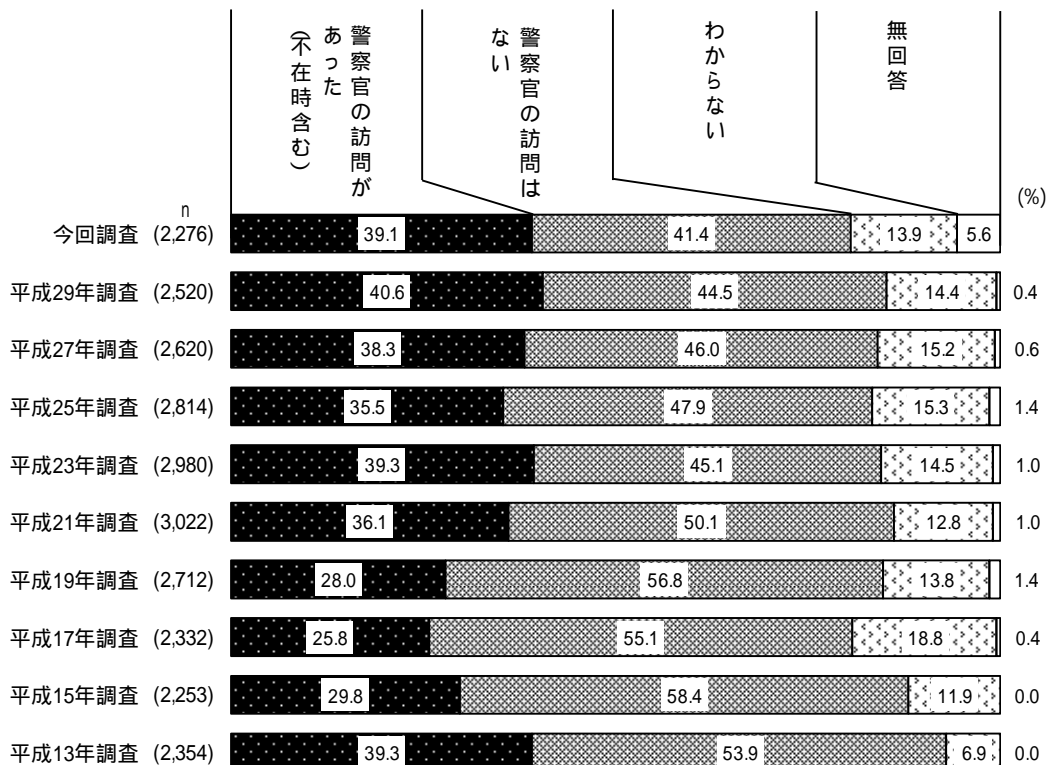
あなたは、お住まいの地域を担当している交番か駐在所を知っていますか。【1つだけ】



5 警察官の訪問状況

「警察官の訪問があった」が 39.1%。

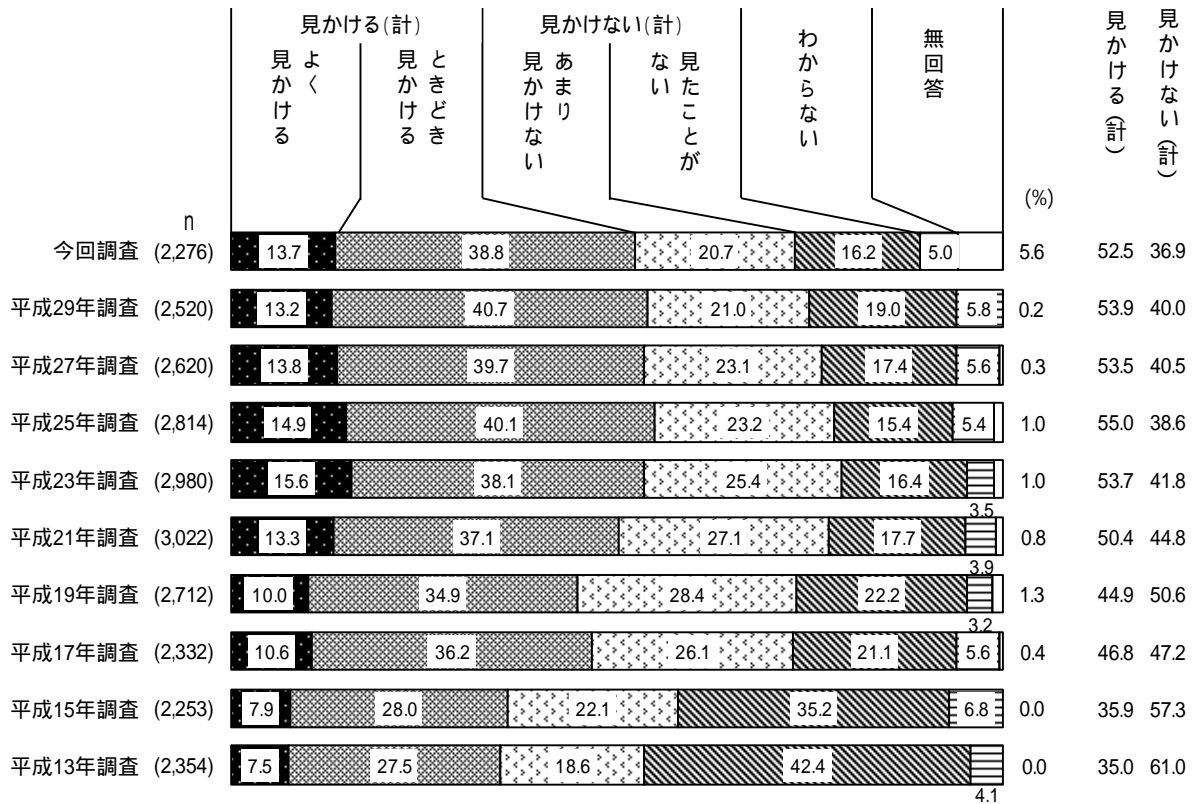
警察官は、防犯等の情報を提供したり、皆様の意見や要望を聞いたりするために、家庭や事務所を訪問(巡回連絡)していますが、今お住まいのお宅に警察官が訪問したことはありますか。【1つだけ】



6 警察官のパトロールを見た経験

見かける が 52.5%。

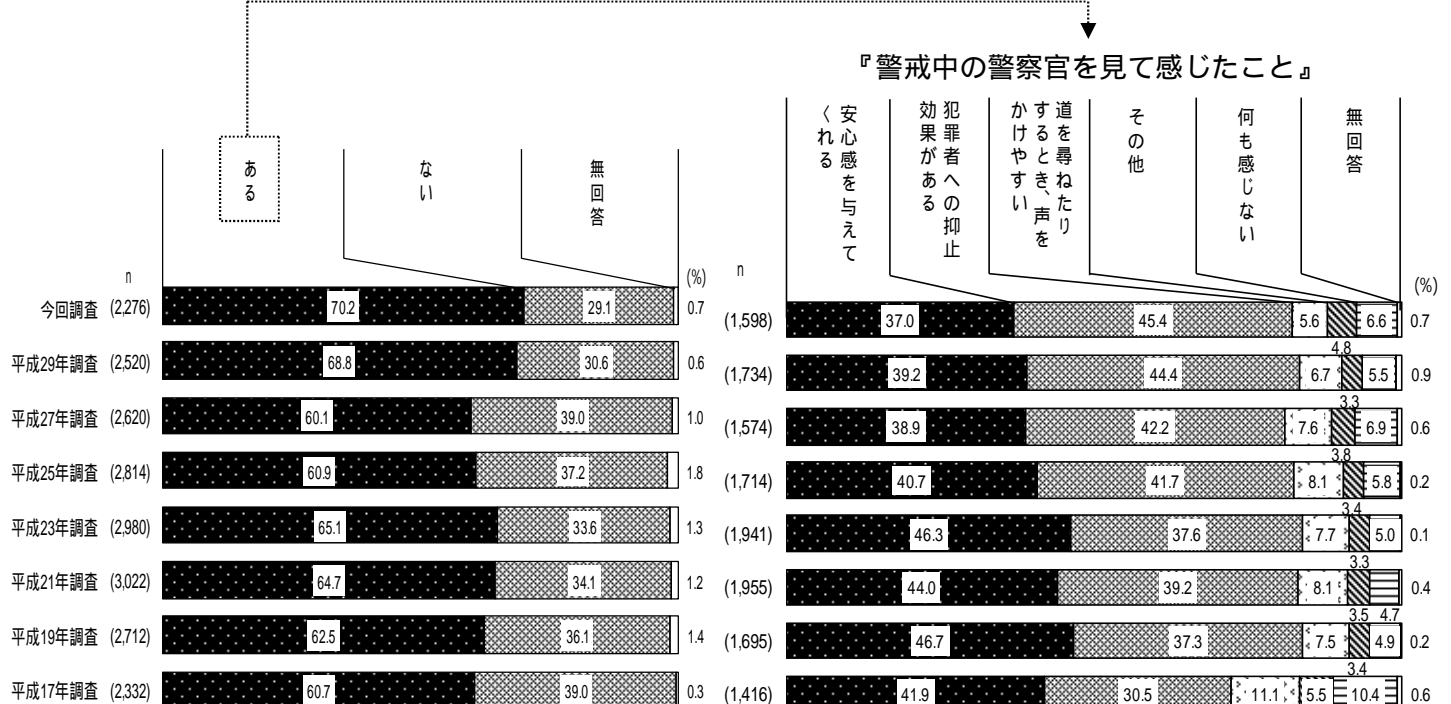
あなたは、お住まいの地域で、この1年くらいに警察官がパトロールしている姿を見たことがありますか。
【1つだけ】



7 交番や駅付近等に立つ警戒中の警察官を見た経験

「ある」が70.2%。『警戒中の警察官を見て感じたこと』は「犯罪者への抑止効果がある」が45.4%。

この1年くらいに、交番や駅付近等に警察官が立って警戒している姿を見たことがありますか。
【1つだけ】

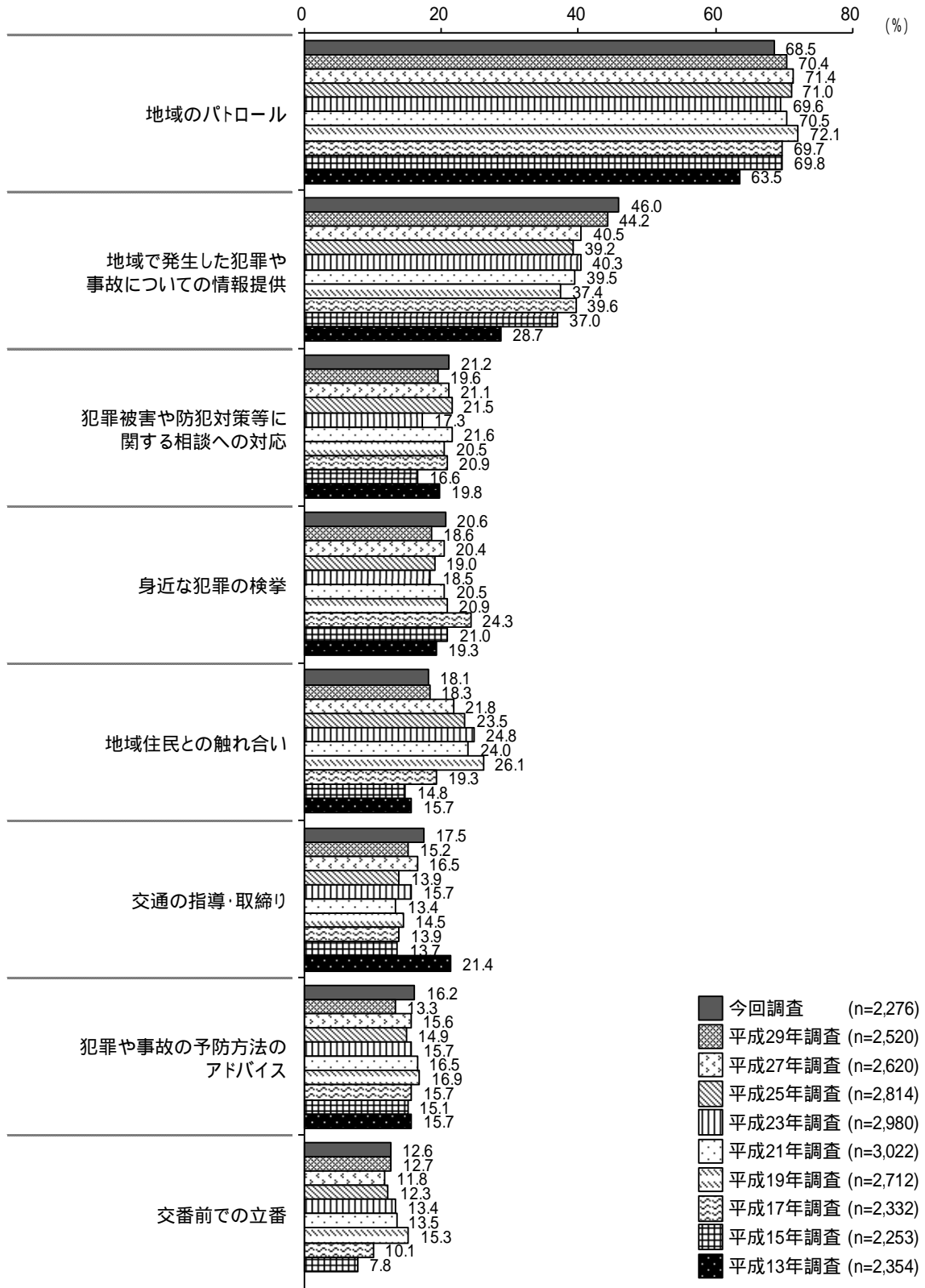


8 交番や駐在所の警察官に強化して欲しい活動

「地域のパトロール」が68.5%。

あなたは、交番や駐在所の警察官に対してどのような活動を強化して欲しいと思いますか。
【最も当てはまるもの3つまで】

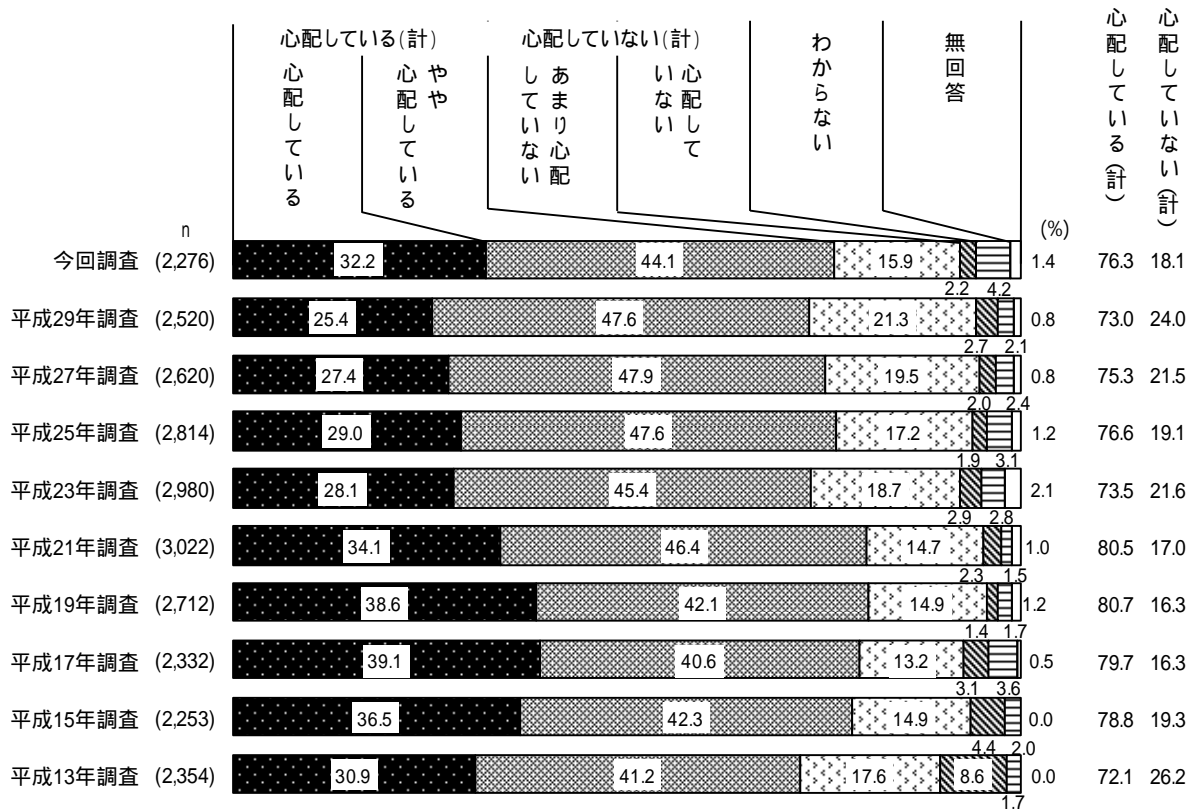
(上位8位までを掲載)



9 犯罪被害に遭う心配の度合い

心配している が76.3%。

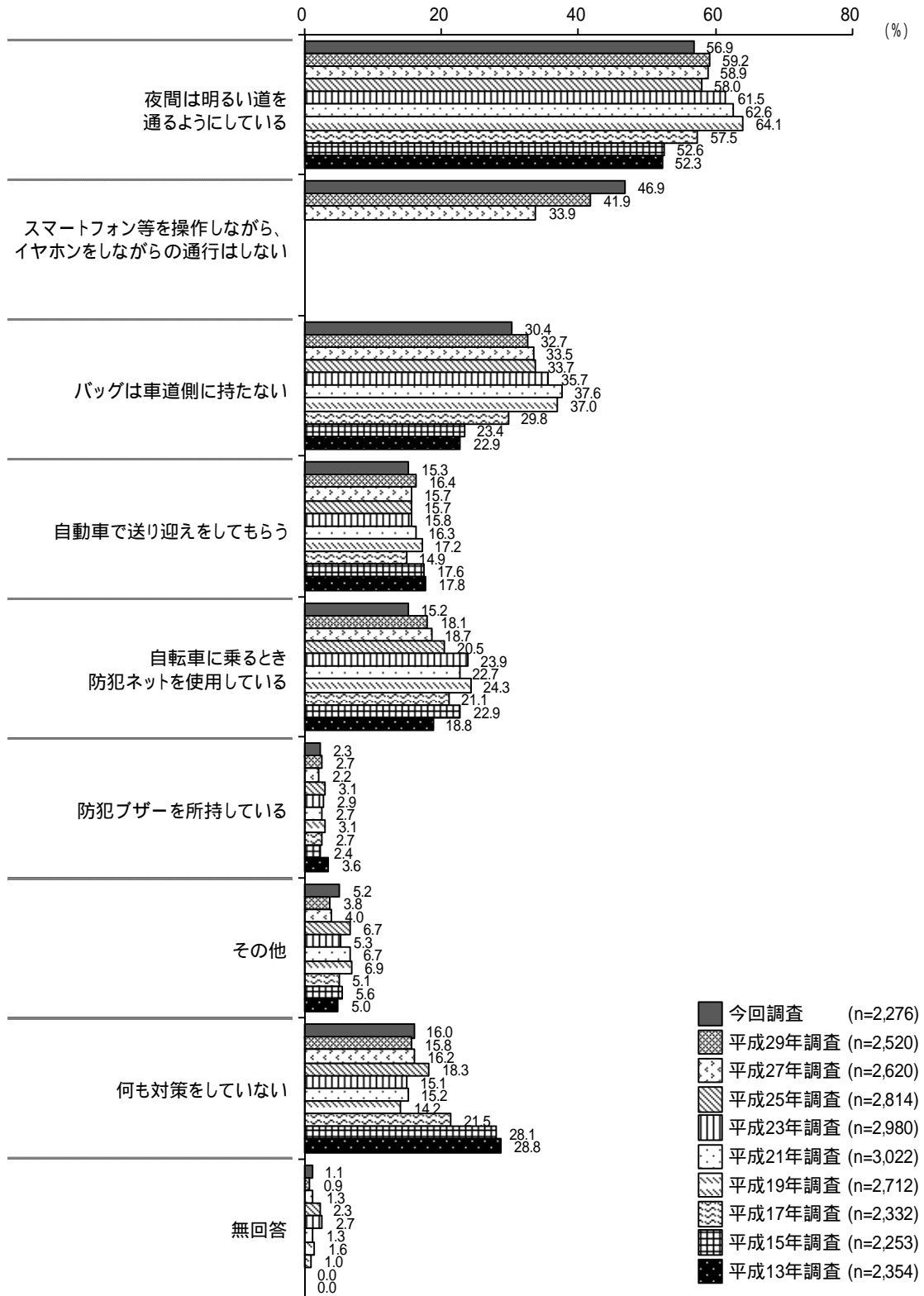
あなたは、御自身又は身近な方が犯罪被害に遭うかもしれないという心配をどの程度されていますか。
【1つだけ】



10 街頭で犯罪の被害に遭わないために気をつけていること

「夜間は明るい道を通るようにしている」が56.9%

ひったくり、強盗等の街頭の犯罪で被害に遭わないため、どのようなことに気をつけていますか。
【当てはまるもの全てに】

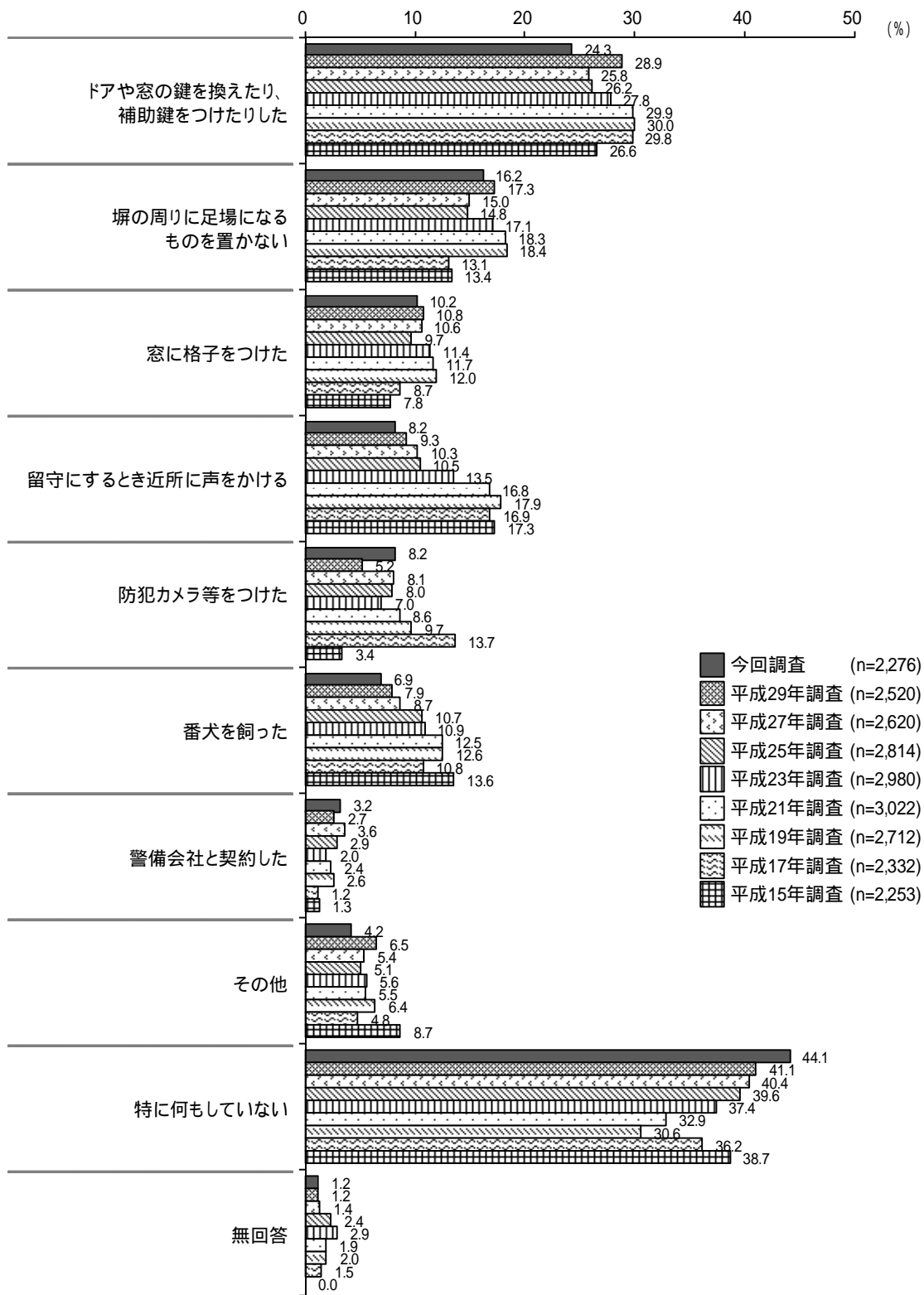


：「スマートフォン等を操作したり、イヤホンをしながらの通行はしない」の選択肢は平成27年調査より追加

11 家に侵入する泥棒被害に遭わないためにしていること

「ドアや窓の鍵を換えたり、補助鍵をつけた」が24.3%。

家に侵入する泥棒被害に遭わないため、どのようなことをしていますか。【当てはまるもの全てに】

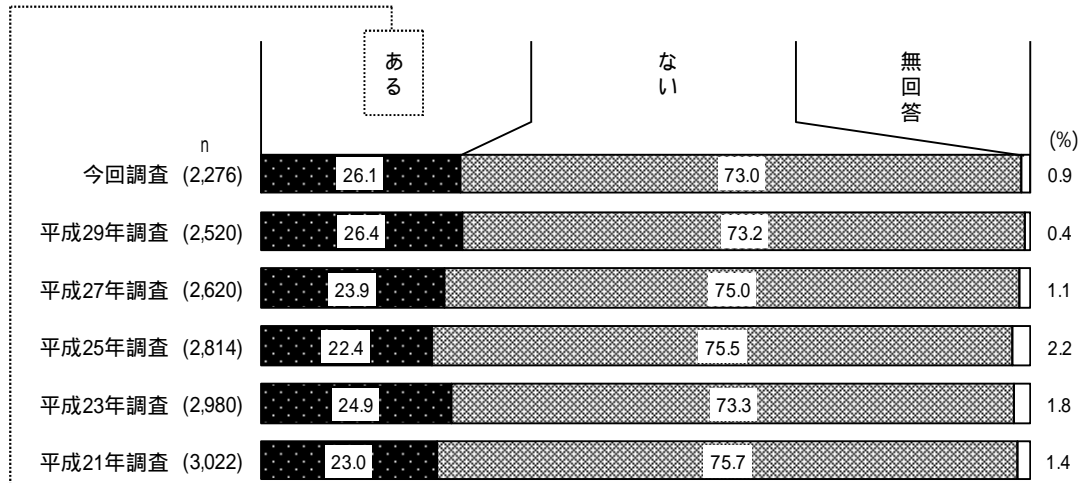


：平成27年調査までは「防犯グッズをつけた（防犯カメラなど）」

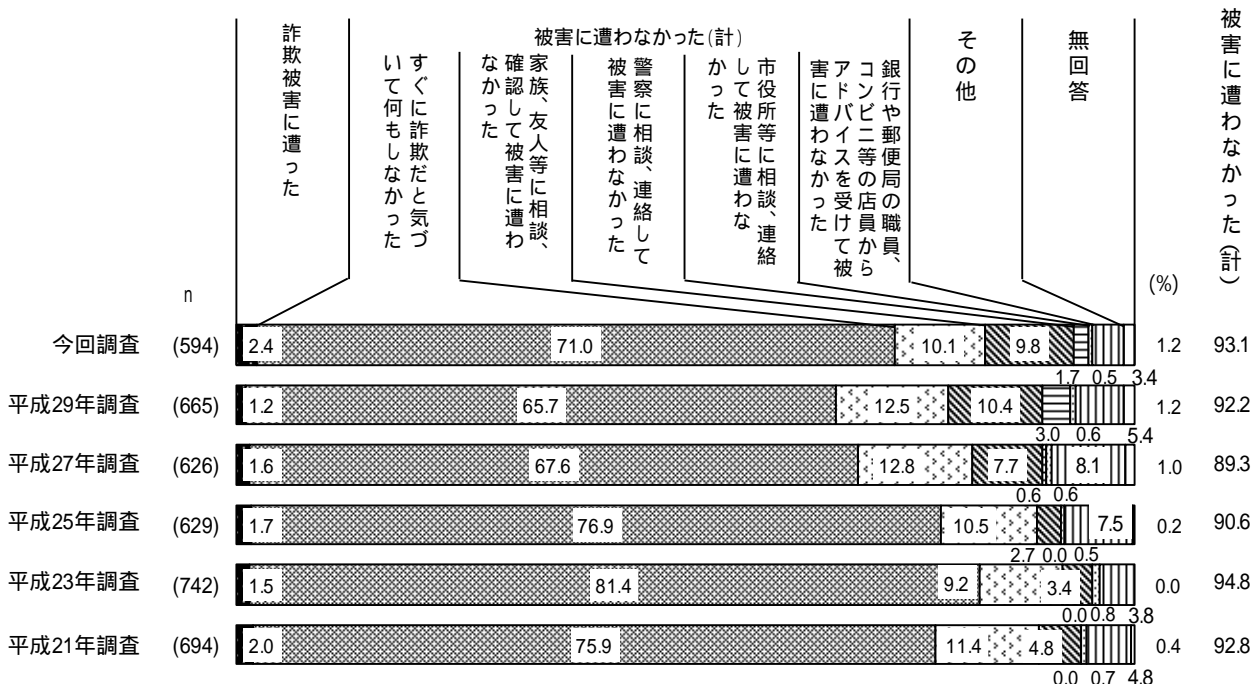
12 特殊詐欺と思われる電話の経験

「ある」が26.1%。「すぐに詐欺だと気づいて何もしなかった」が71.0%で平成29年と比べて5.3ポイント増加。

あなたの御自宅に特殊詐欺（オレオレ詐欺、還付金詐欺、キャッシュカード手渡し詐欺等）と思われる電話がかかってきたことがありますか。【1つだけ】



『その時どのように対応しましたか。』

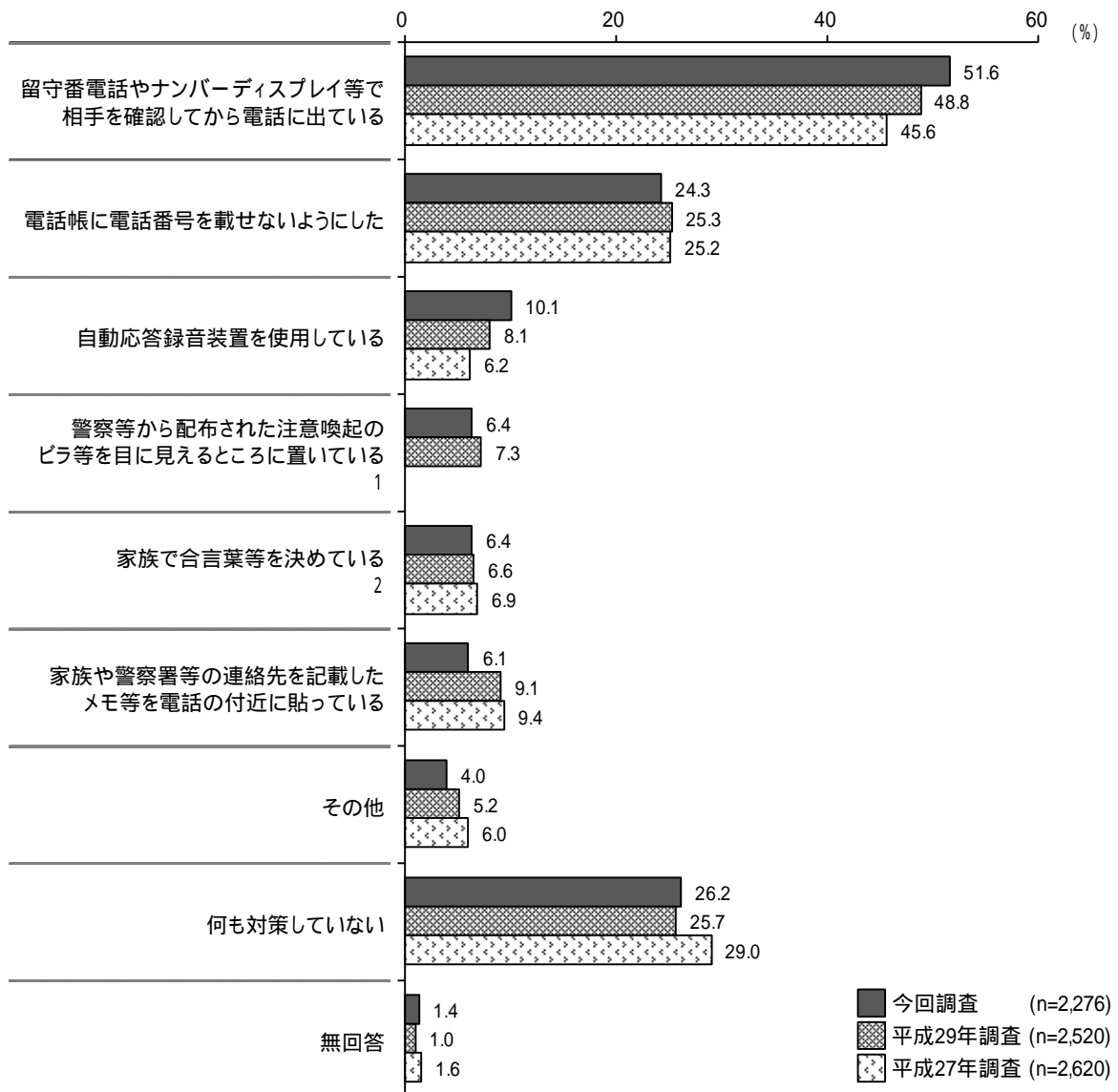


：平成27年調査までは「家族に相談、確認して被害に遭わなかった」

13 特殊詐欺の被害に遭わないため、日頃からしている対策

「留守番電話やナンバーディスプレイ等で相手を確認してから電話に出る」が51.6%。

特殊詐欺（オレオレ詐欺、還付金詐欺、キャッシュカード手渡し詐欺等）の被害に遭わないため、日頃からどのような対策をしていますか。【当てはまるもの全てに 】



：本調査は平成 27 年調査より開始

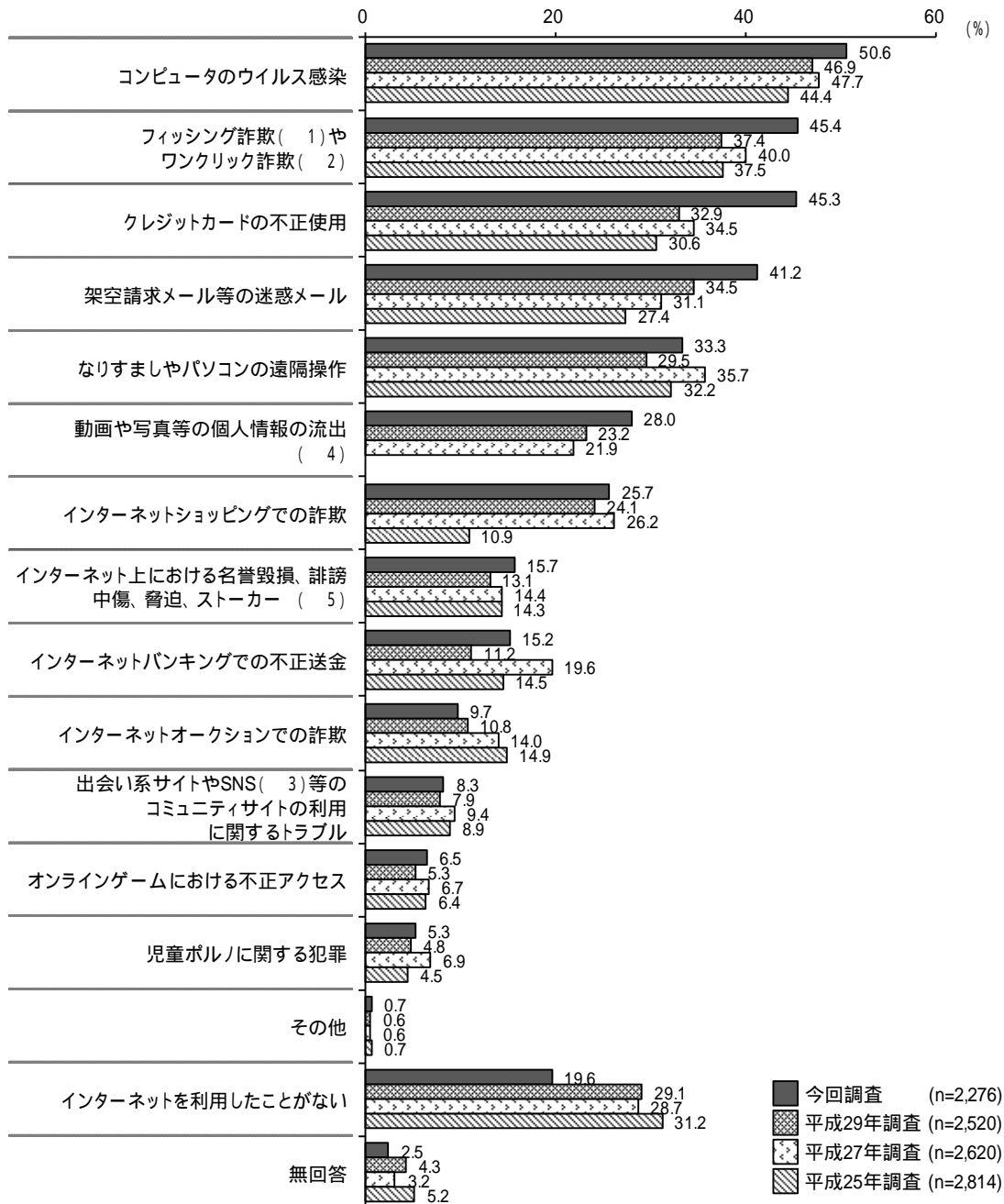
1：「警察等から配布された注意喚起ピラ等を目に見えるところに置いている」の選択肢は平成 27 年調査より追加

2：平成 27 年調査までは「家族で合言葉を決めている」

14 インターネット利用時に不安を感じるサイバー犯罪等

「コンピュータのウイルス感染」が50.6%。

あなたがインターネットを利用して、不安に思うサイバー犯罪やインターネット上のトラブルは何ですか。【当てはまるもの全てに、インターネットを利用したことがない場合は「15」に】

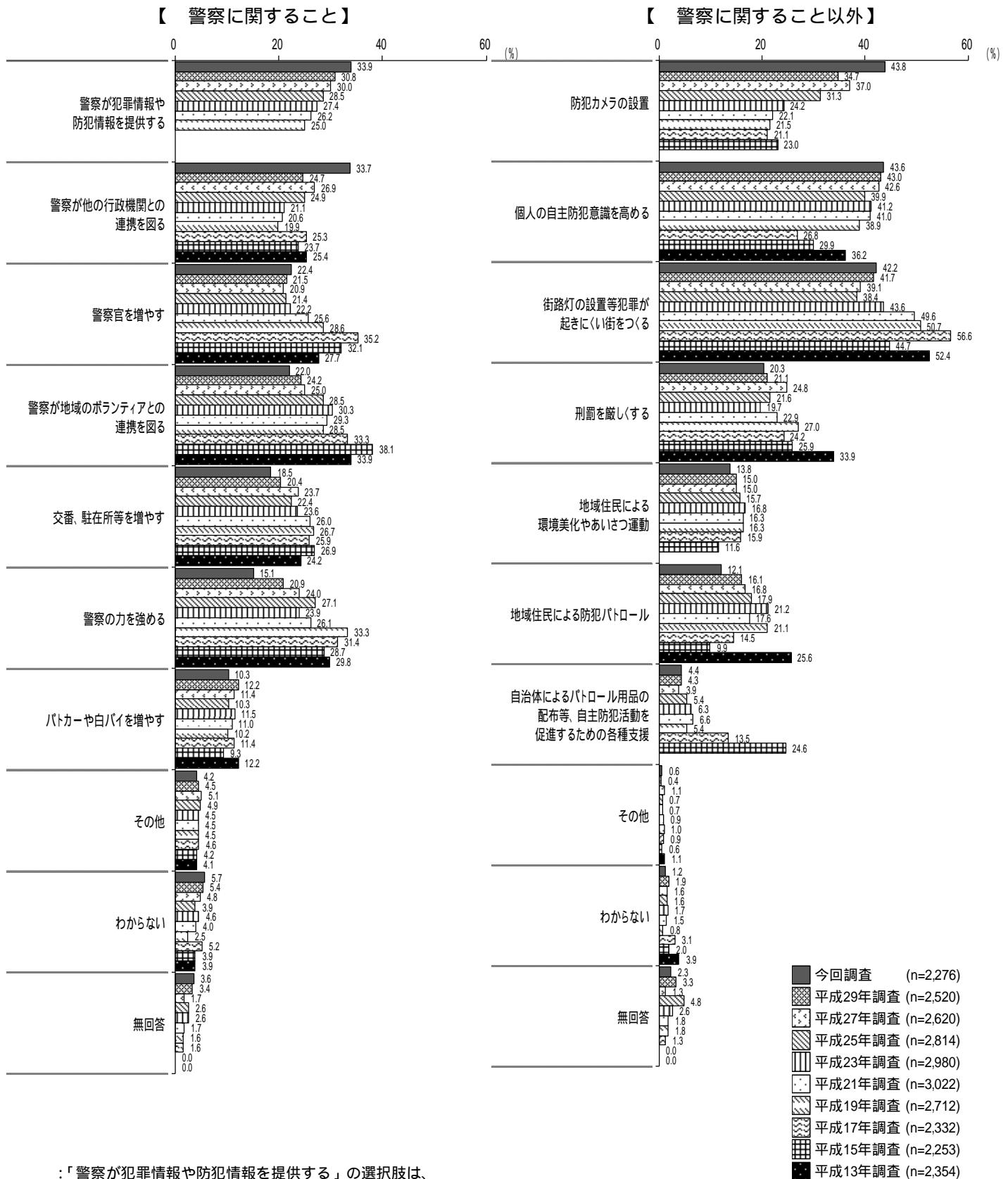


- 1：フィッシング(Phishing)詐欺とは、銀行やクレジットカード会社等の企業を装った電子メールやホームページを用いて個人の金融情報等を聞き出そうとする手口のこと。
- 2：ワンクリック詐欺とは、パソコンや携帯電話等からアダルト関連の広告を装ったメールを用いてそのメールに記載されたホームページにアクセスして「入場」、「規約」等の箇所をクリックしただけで、いきなり料金請求画面が表示される手口のこと。
- 3：SNSとは、Social Networking Service(ソーシャルネットワーキングサービス)の略で、日記やメッセージ等を通じて友人や知人、共通の趣味を持つ人たちが交流することを目的としたサービスのこと。
- 4：平成27年調査までは「個人の動画や写真の流出被害」と「動画や写真以外のインターネット上の個人情報等の流出被害」
- 5：平成27年調査までは「インターネット上における名誉棄損、誹謗中傷、脅迫被害」と「インターネットを利用したストーカー被害」

15 生活の安全や安心に効果的なこと

警察関係「犯罪・防犯情報の提供」33.9%。警察関係以外「防犯カメラの設置」43.8%。

生活の安全や安心を確保するため、何がより効果的だと思いますか。「警察に關すること」、「警察に關すること以外」の観点で、それぞれについてお答えください。



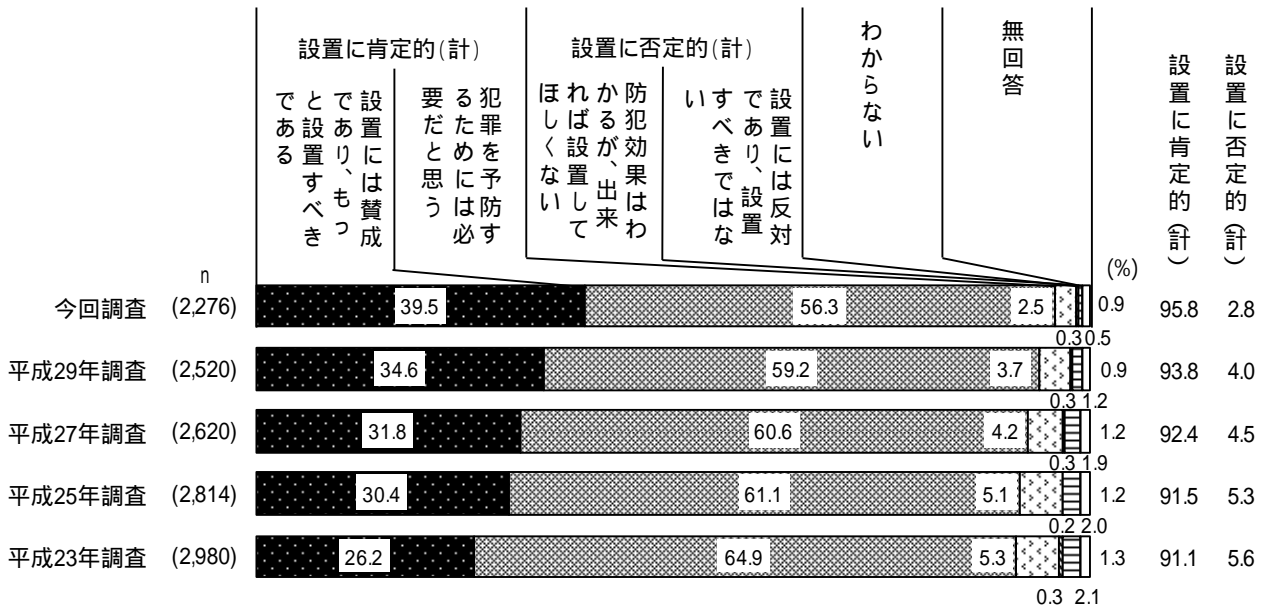
：「警察が犯罪情報や防犯情報を提供する」の選択肢は、平成19年調査より追加

：平成27年調査までは「街頭防犯カメラの設置」

16 公共空間における防犯カメラの設置の賛否

設置に肯定的 が 95.8%。

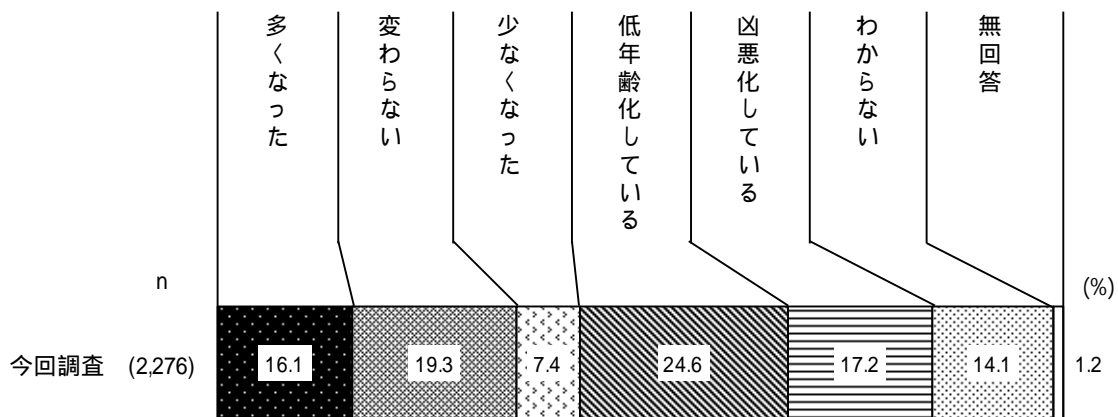
商店街等の公共空間で多発している犯罪を予防するため、防犯カメラ等が設置されることについて、どう思いますか。【1つだけ】



17 少年非行について

「低年齢化している」が 24.6%。

最近の少年非行について、どのように感じていますか。【1つだけ】

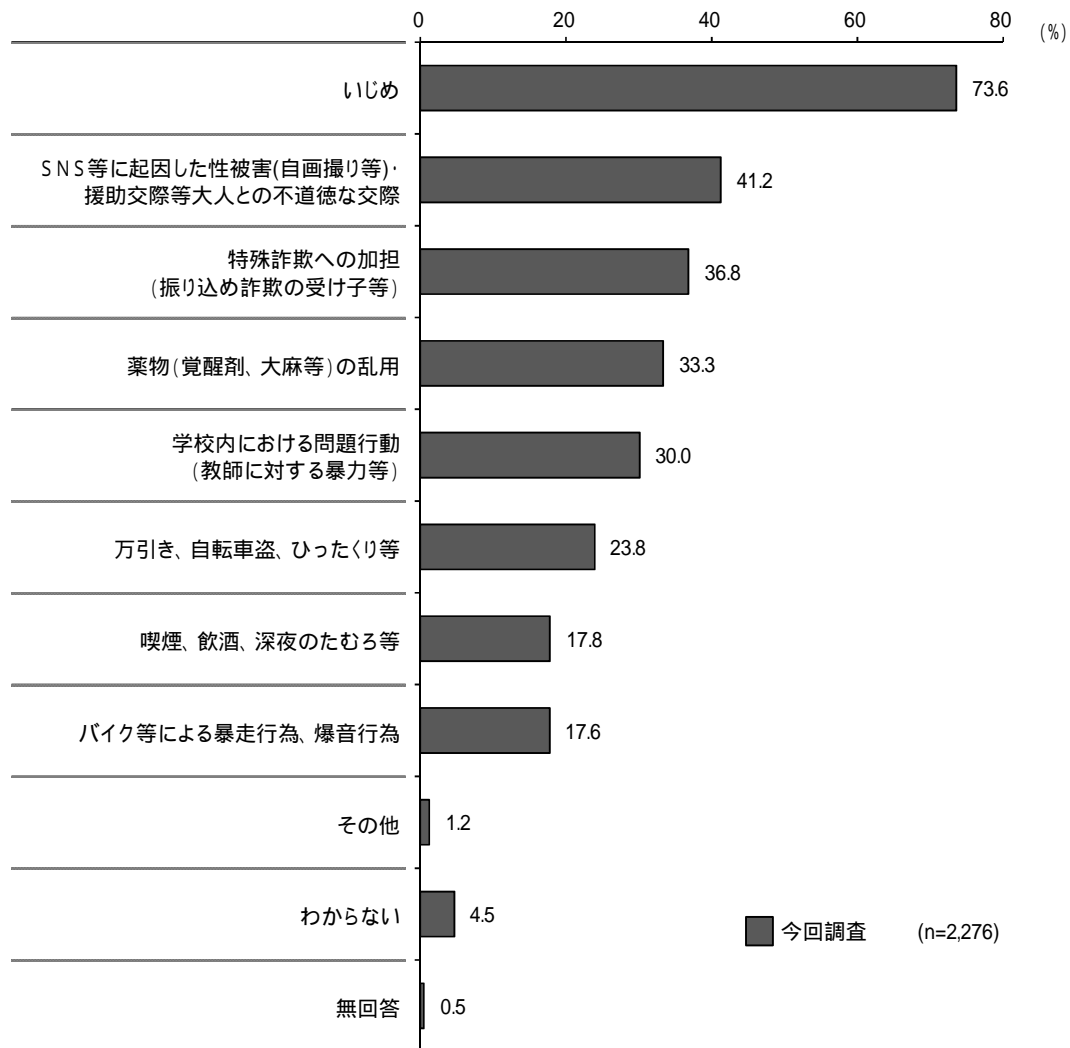


：本調査は令和元年調査より「非常に多くなった」、「非常に少なくなった」の選択肢を削除し、「低年齢化している」、「凶悪化している」の選択肢を追加

18 少年非行に関する出来事で不安を感じること

「いじめ」が73.6%。

身近に発生する少年非行に関する出来事で、どのようなことに不安を感じますか。
【当てはまるもの全てに 】

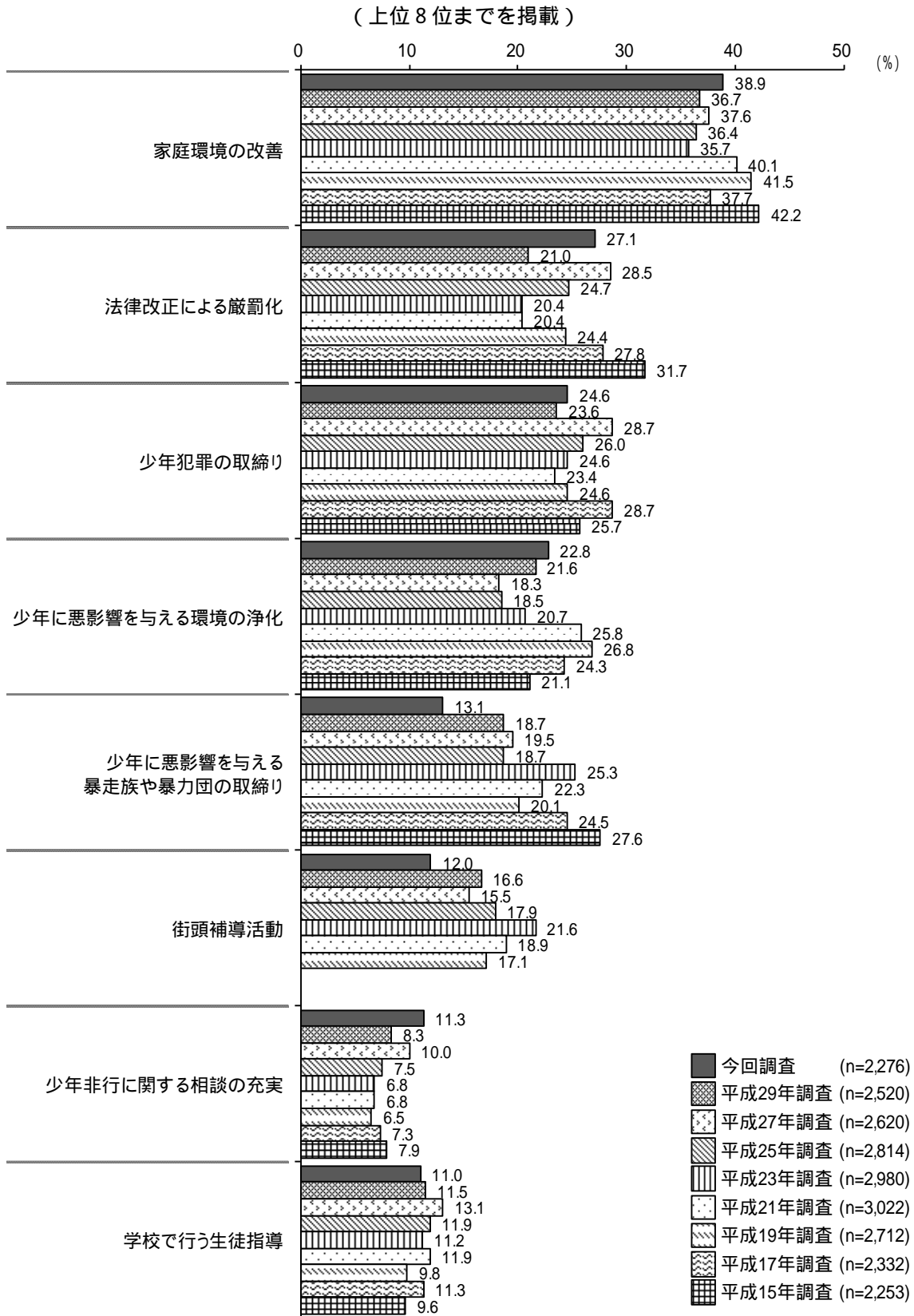


：本調査は、令和元年調査より質問を「この1年くらいに、あなたのお住まいの地域で少年非行に関する出来事を見聞きしていますか」から変更

19 少年非行防止に有効な活動

「家庭環境の改善」が38.9%。

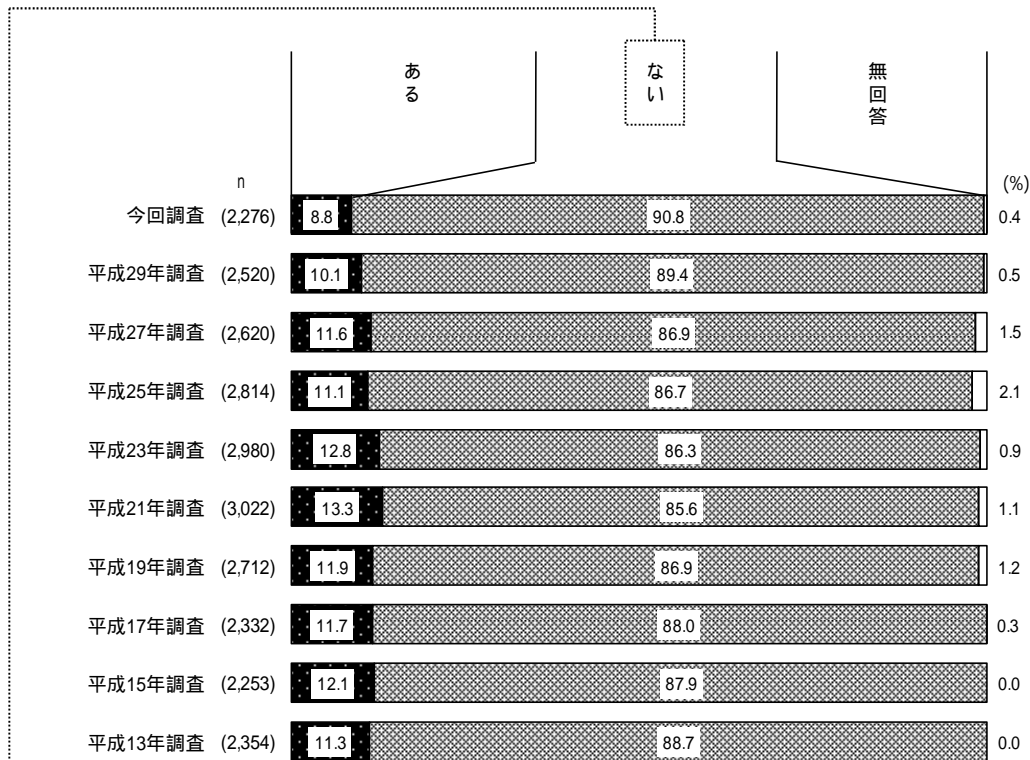
少年非行を防止するために、どのような活動が有効だと思いますか。【最も当てはまるもの2つまで】



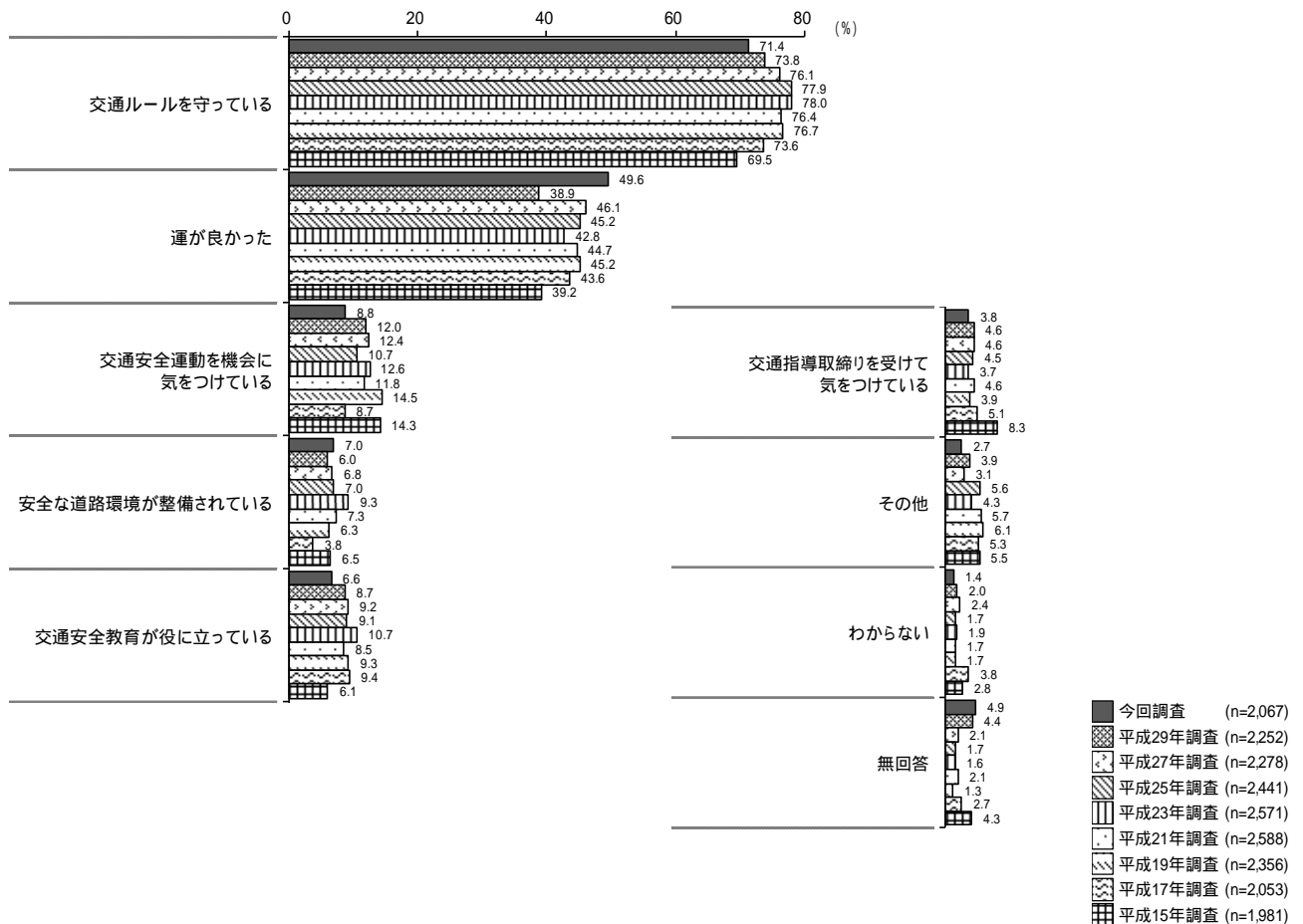
20 交通事故に遭った経験

「ない」が90.8%。理由は「交通ルールを守っている」が71.4%。

あなたは、過去3年くらいの間に、交通事故に遭ったことがありますか。【1つだけ】



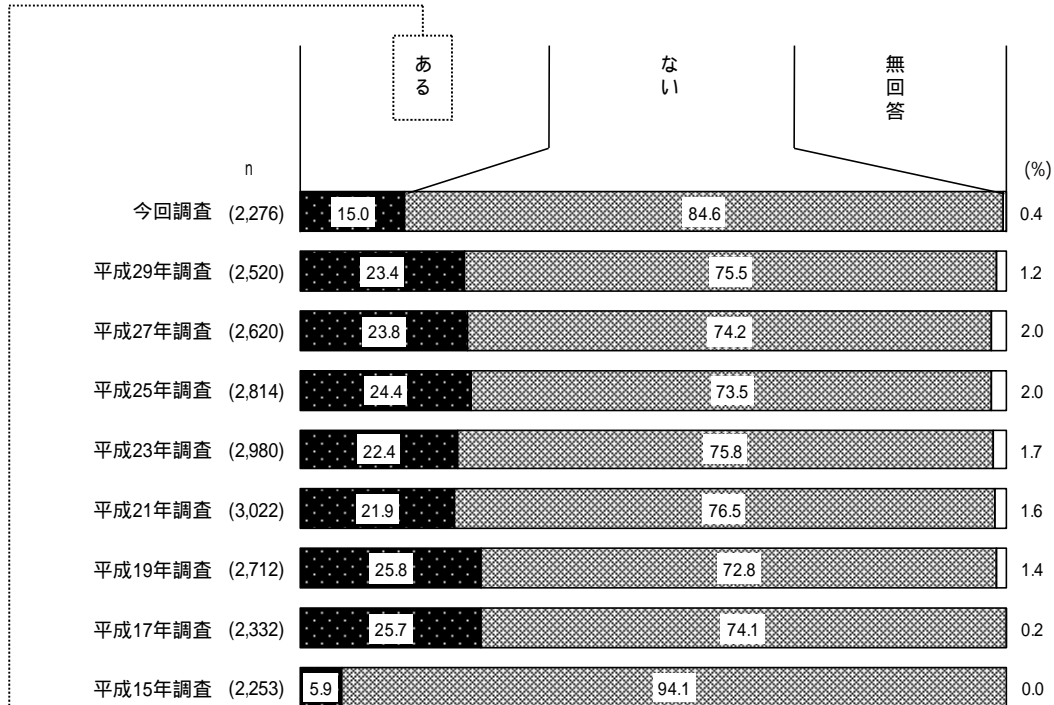
『交通事故に遭わなかった理由』



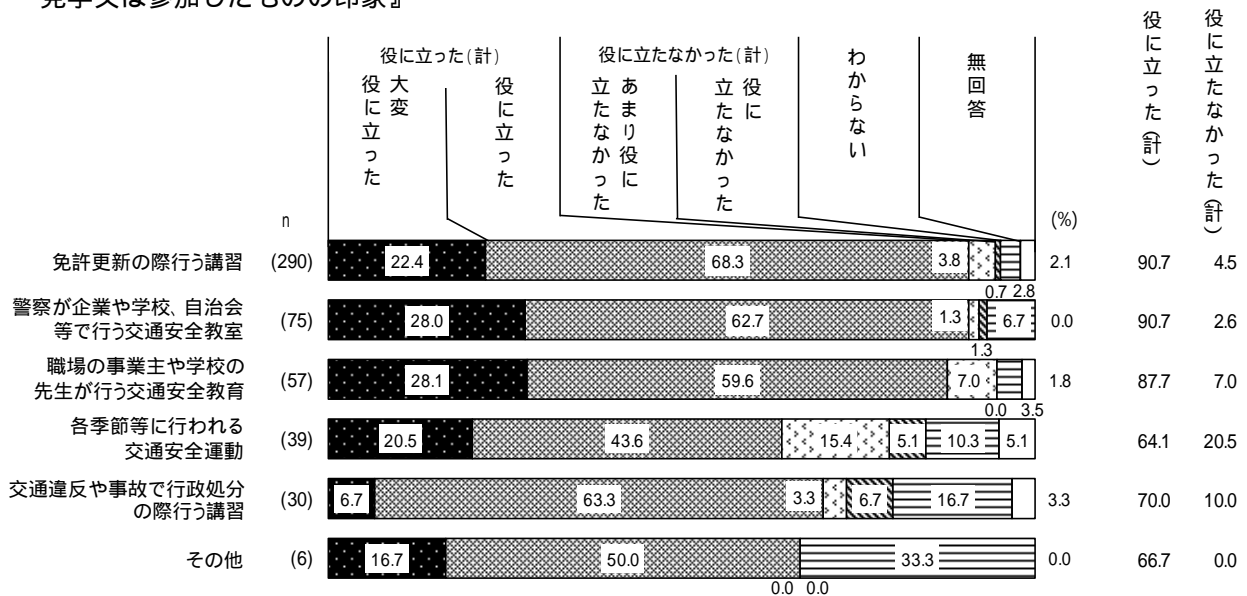
21 交通安全運動への見学・参加経験

「ある」が15.0%。役に立ったのは「免許更新の際行う講習」、「警察が企業や学校、自治体等で行う交通安全教室」の90.7%。

あなたは、過去3年くらいの間に、県内で行われた交通安全運動や交通安全教室等を見学したり、参加した経験はありますか。【1つだけ】



『見学又は参加したものの印象』

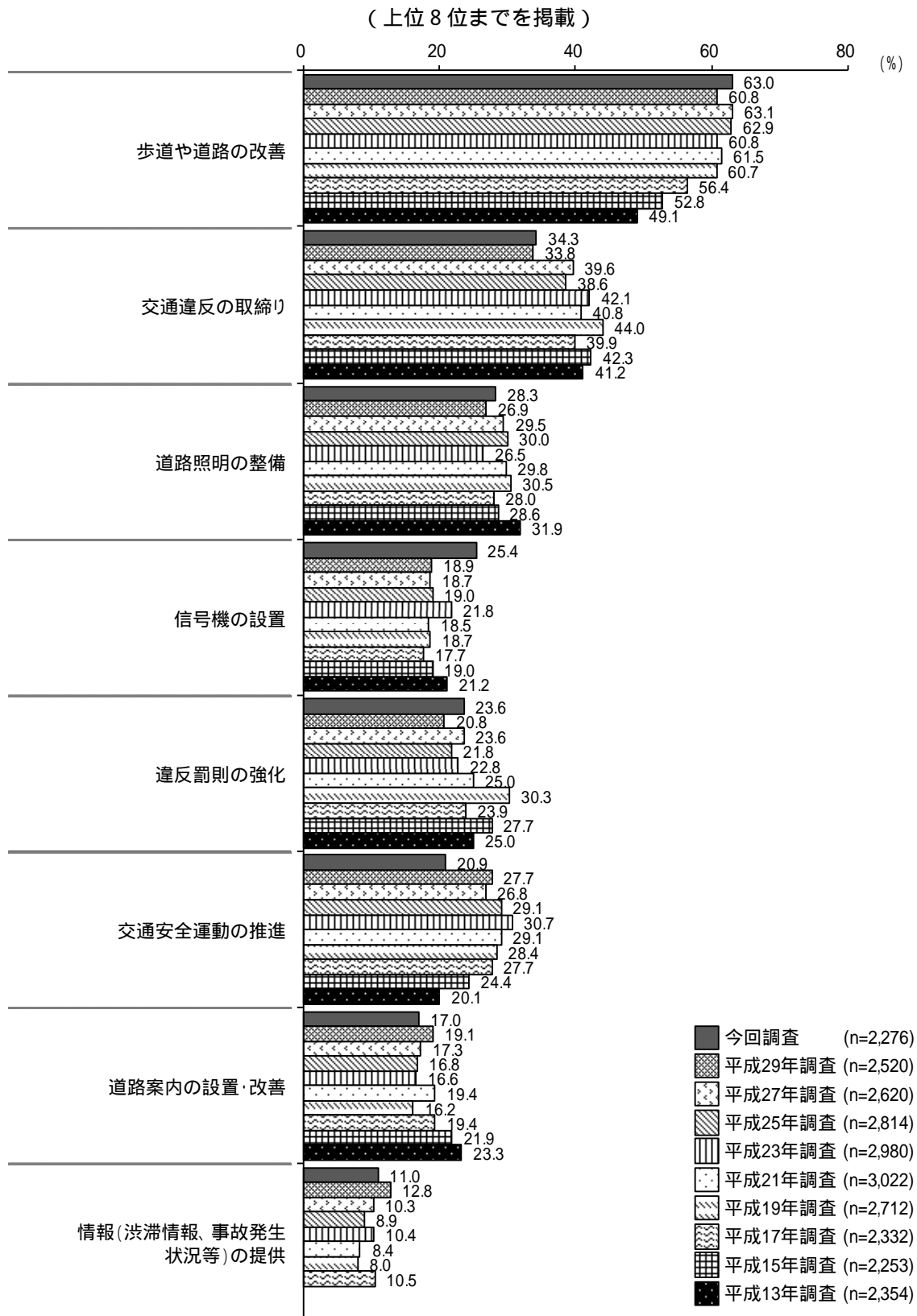


：平成27年調査までは「多少役に立った」

22 交通事故を防ぐための効果的な方策

「歩道や道路の改善」が63.0%。

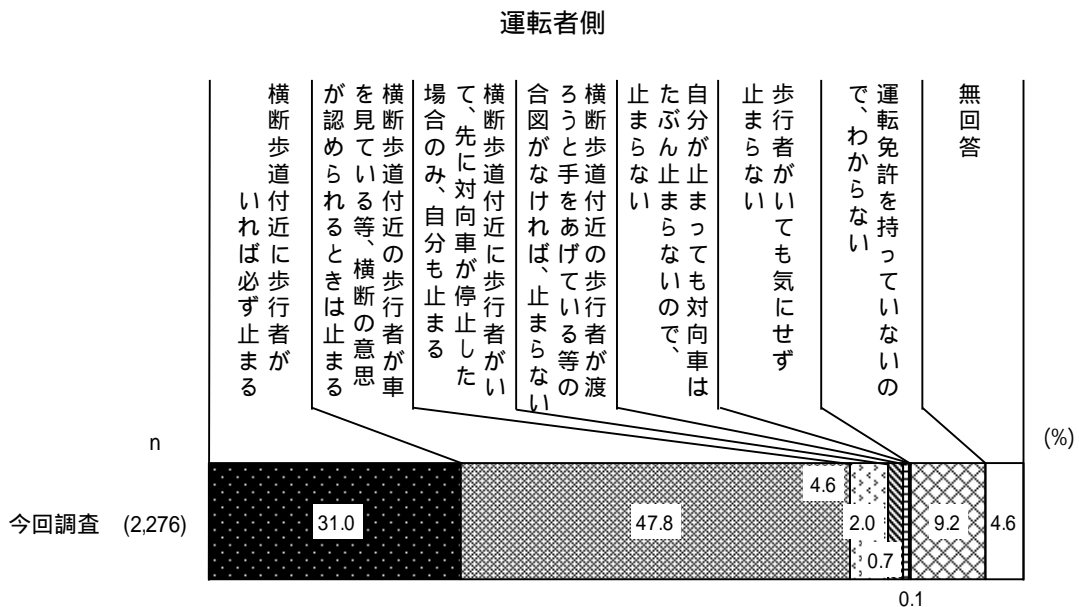
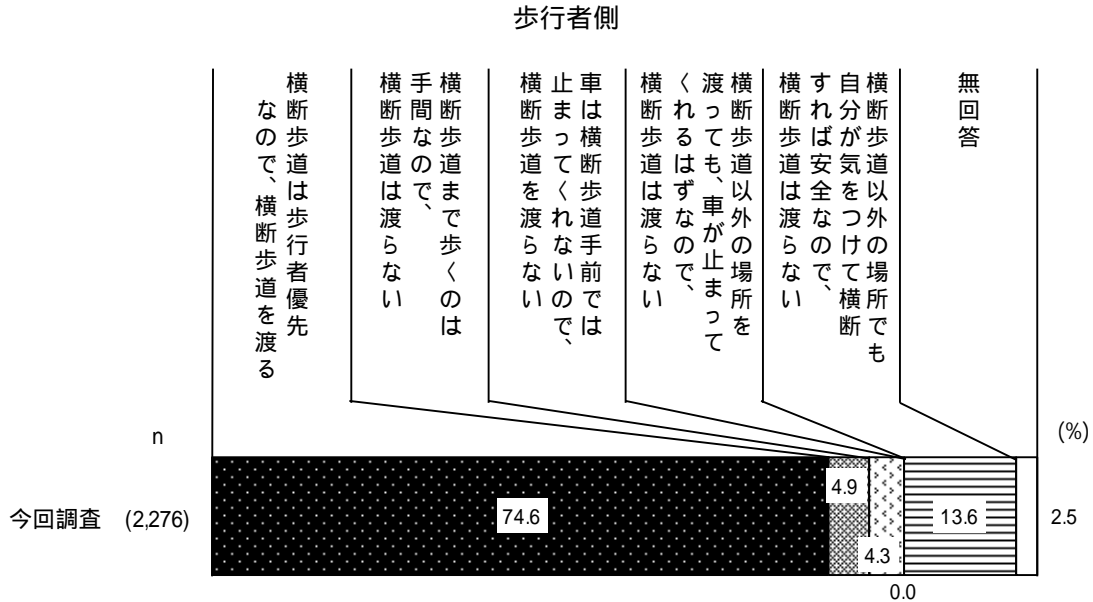
あなたは、交通事故を防ぐためには、どのような方策が効果的だと思いますか。
【最も当てはまるもの3つまで】



23 信号機のない横断歩道での事故防止対策

歩行者側「横断歩道は歩行者優先なので、横断歩道を渡る」が74.6%。
 運転者側「横断歩道付近の歩行者が車を見ている等、横断の意思が認められるときは止まる」が47.8%。

あなたは、歩行者として信号機のない横断歩道や道路を横断する場合と、車両の運転者として信号機のない横断歩道を通過する際に、どのような対応をしていますか。「歩行者側」「運転者側」のそれぞれについて最も当てはまるものをお答えください。

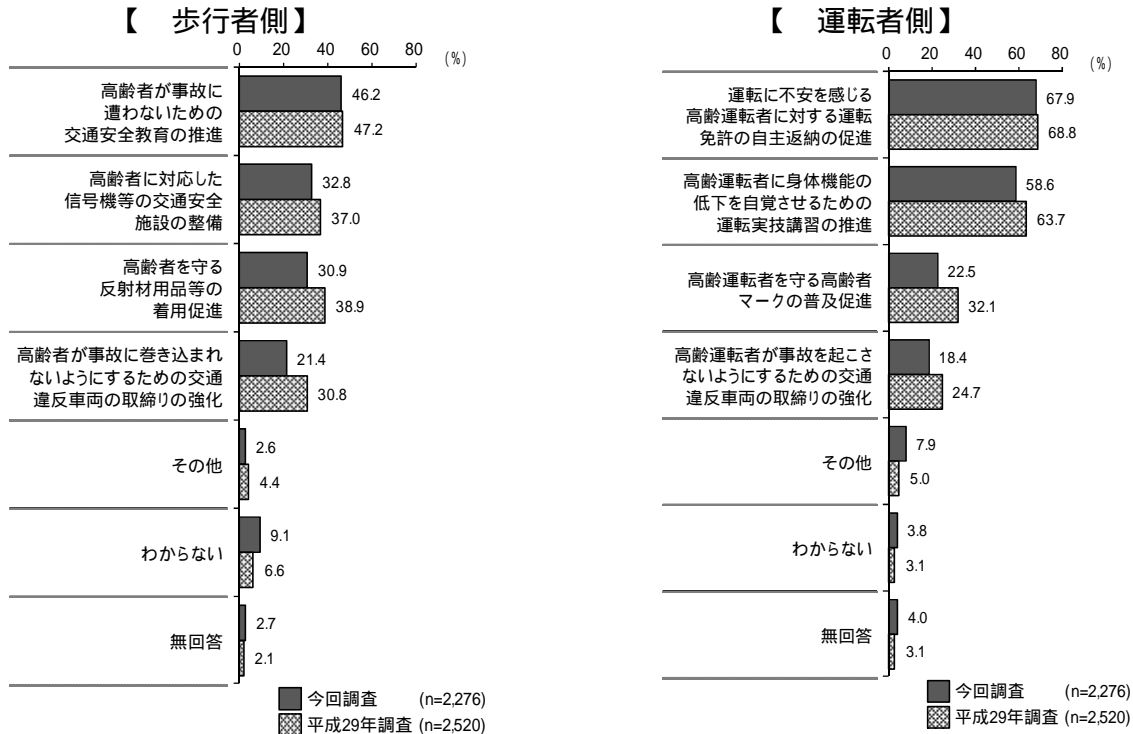


：本調査は令和元年調査より開始

24 高齢者の事故防止対策

歩行者側「交通安全教育の推進」46.2%。運転者側「運転免許の自主返納」67.9%。

特に、高齢者の事故を防止するためには、どのような対策が必要だと感じますか。「歩行者側」、「運転者側」のそれぞれについてお答えください。

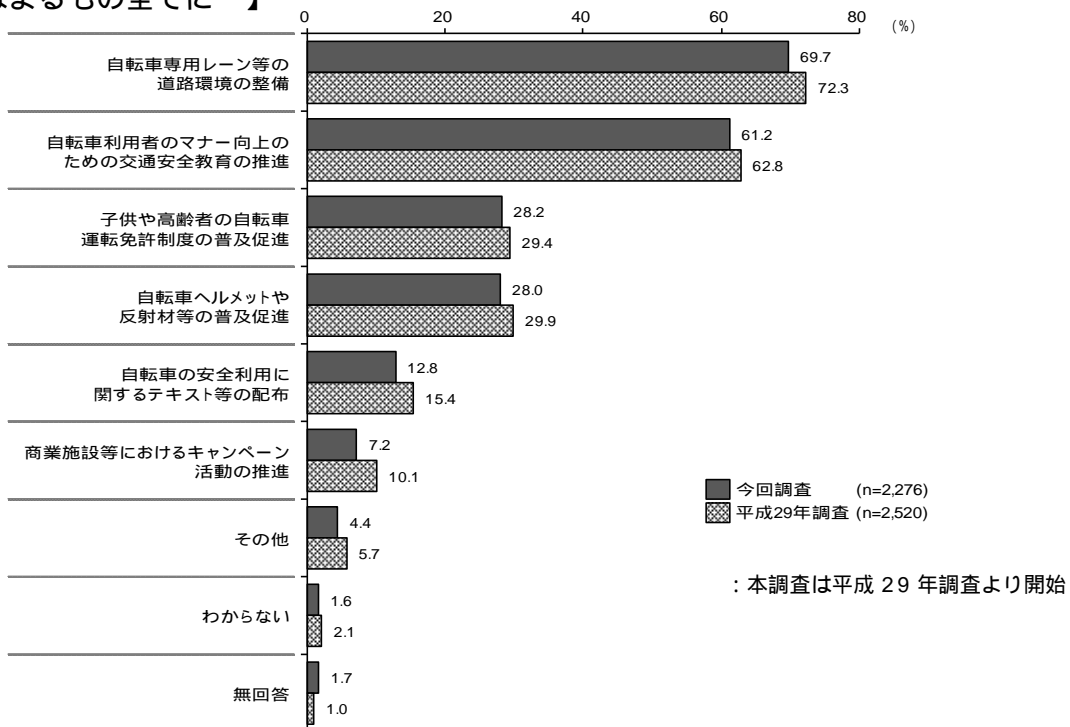


：本調査は平成 29 年調査より開始

25 自転車が事故に遭わないための対策

「自転車専用レーン等の道路環境の整備」が69.7%。

特に、自転車が事故に遭わないようにするためには、どのような対策が必要だと感じますか。【当てはまるもの全てに】

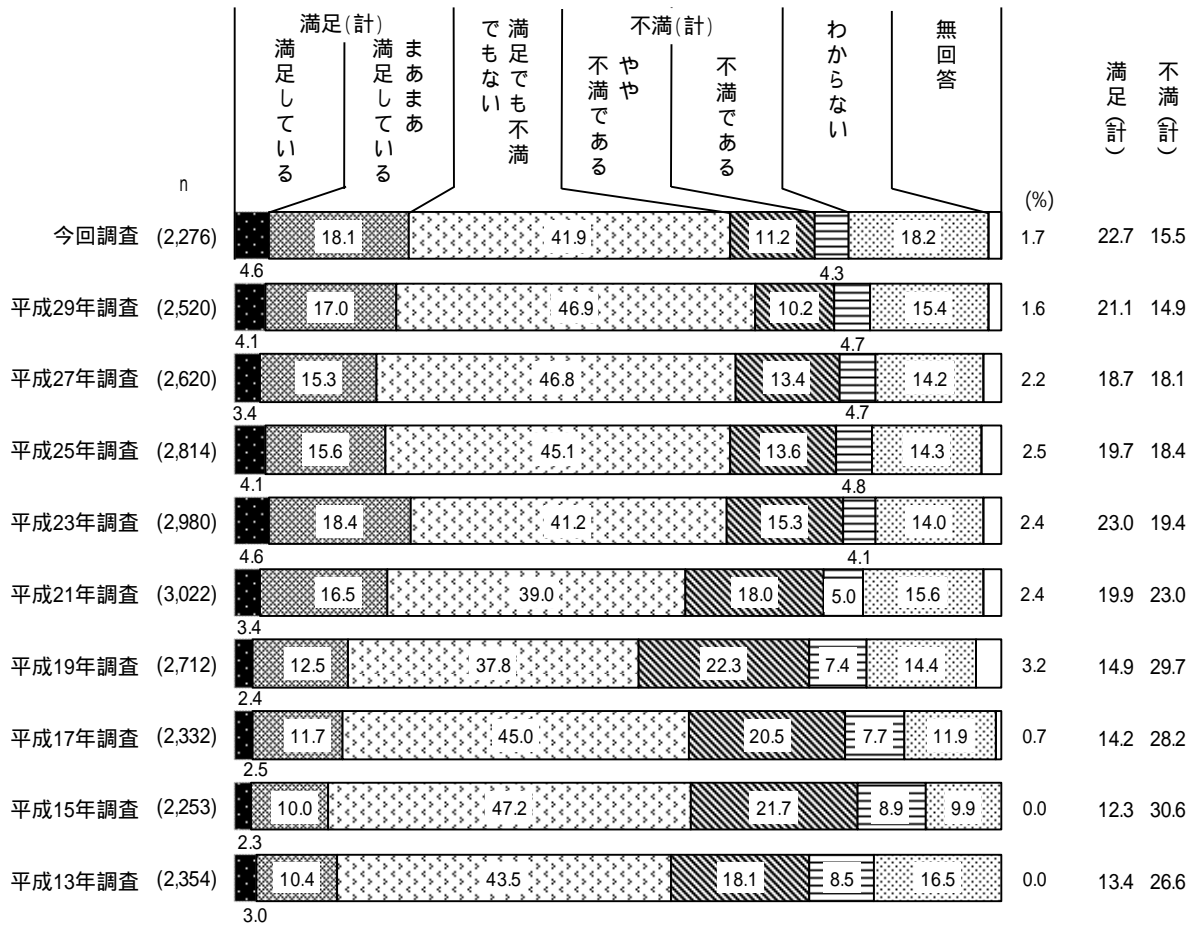


：本調査は平成 29 年調査より開始

26 埼玉県警察の活動についての印象

満足 は 22.7%。 不満 は 15.5%。 満足 が 不満 を上回っている。

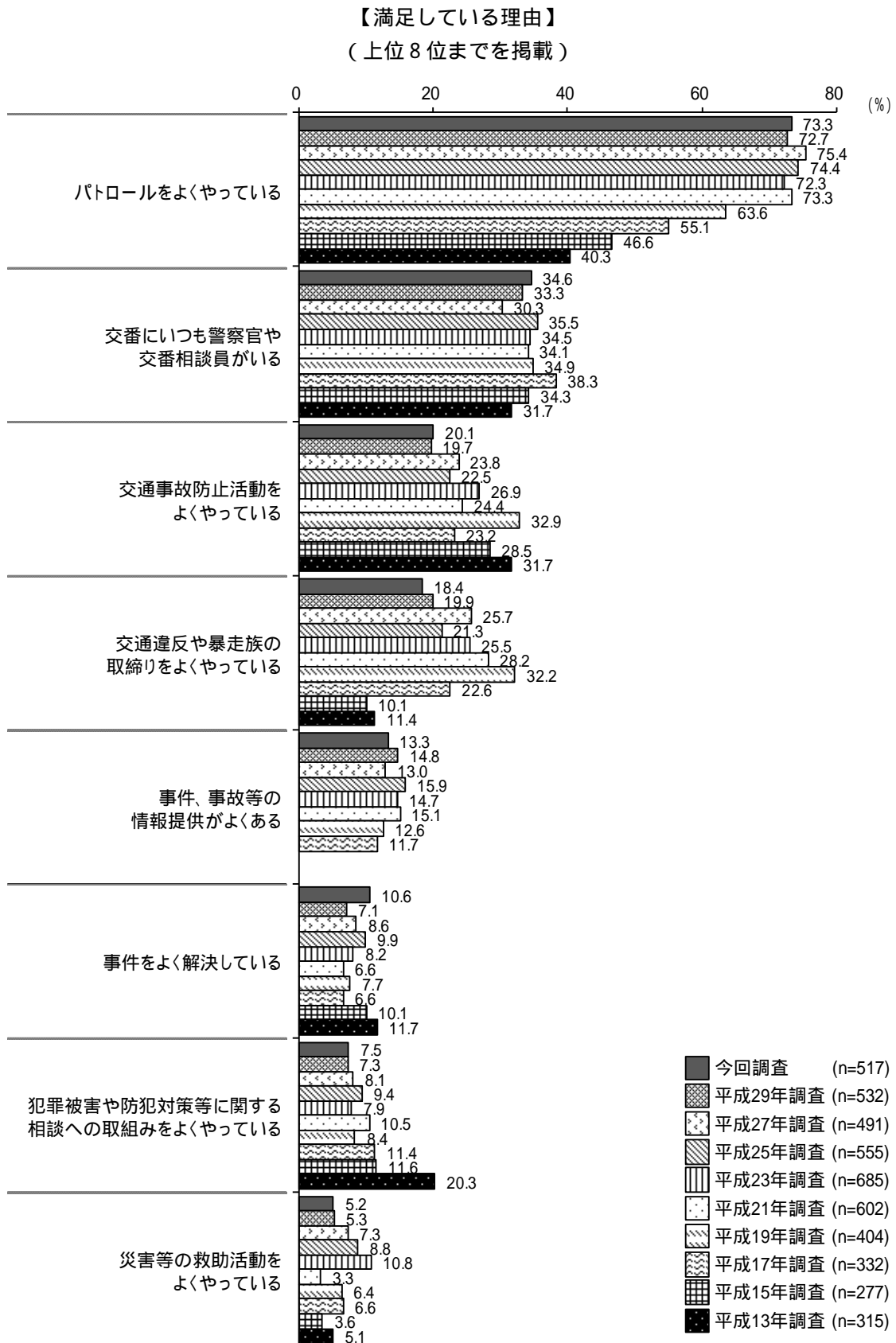
埼玉県警察の活動について、あなたが日頃感じていることをお答えください。【1つだけ】



27 埼玉県警察の活動に満足している理由

満足している理由は「パトロールをよくやっている」が73.3%。

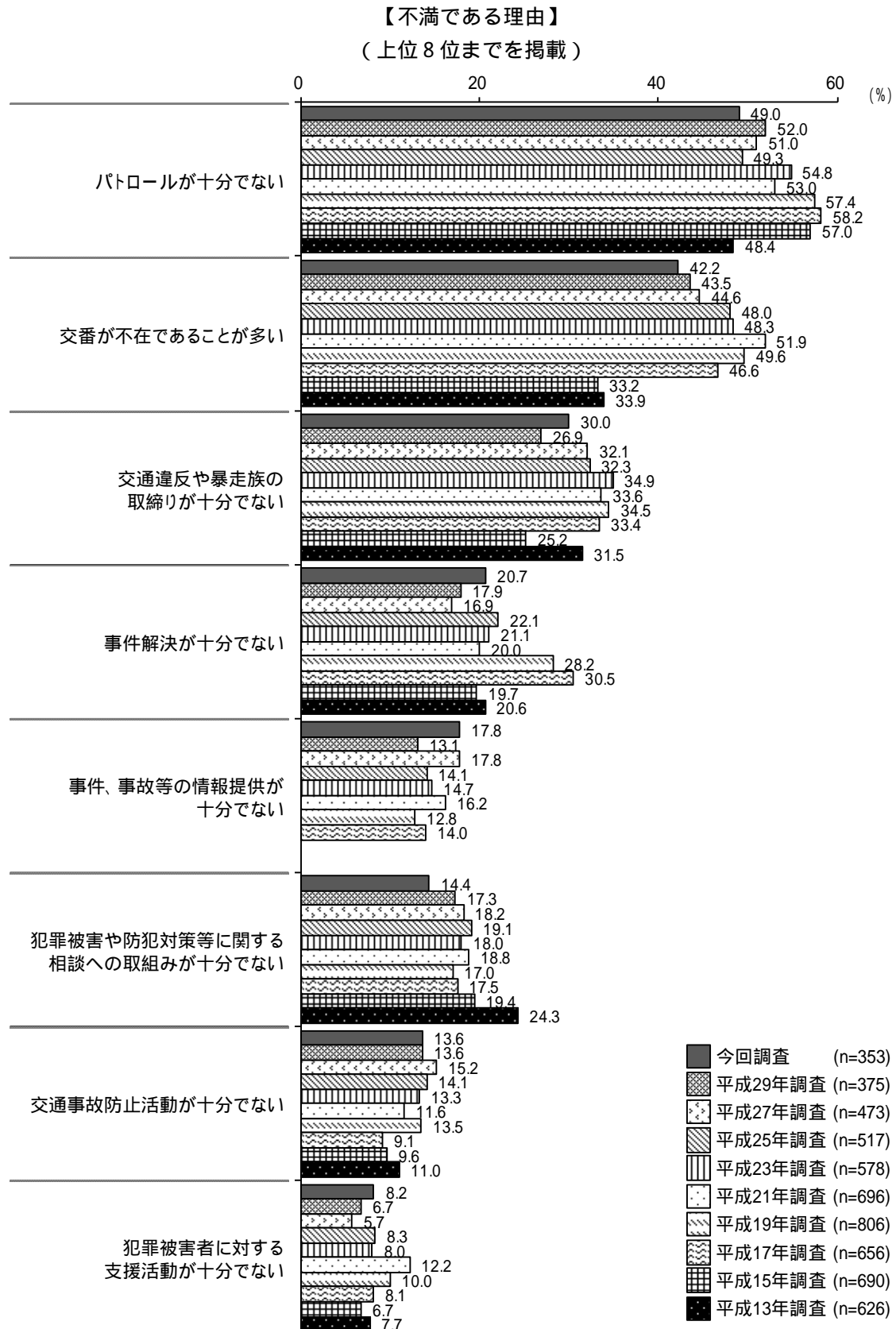
(「満足している」又は「まあまあ満足している」とお答えの方に)
 どのような点で満足ですか。【最も当てはまるもの3つまで】



28 埼玉県警察の活動が不満である理由

不満である理由は「パトロールが十分でない」が49.0%。

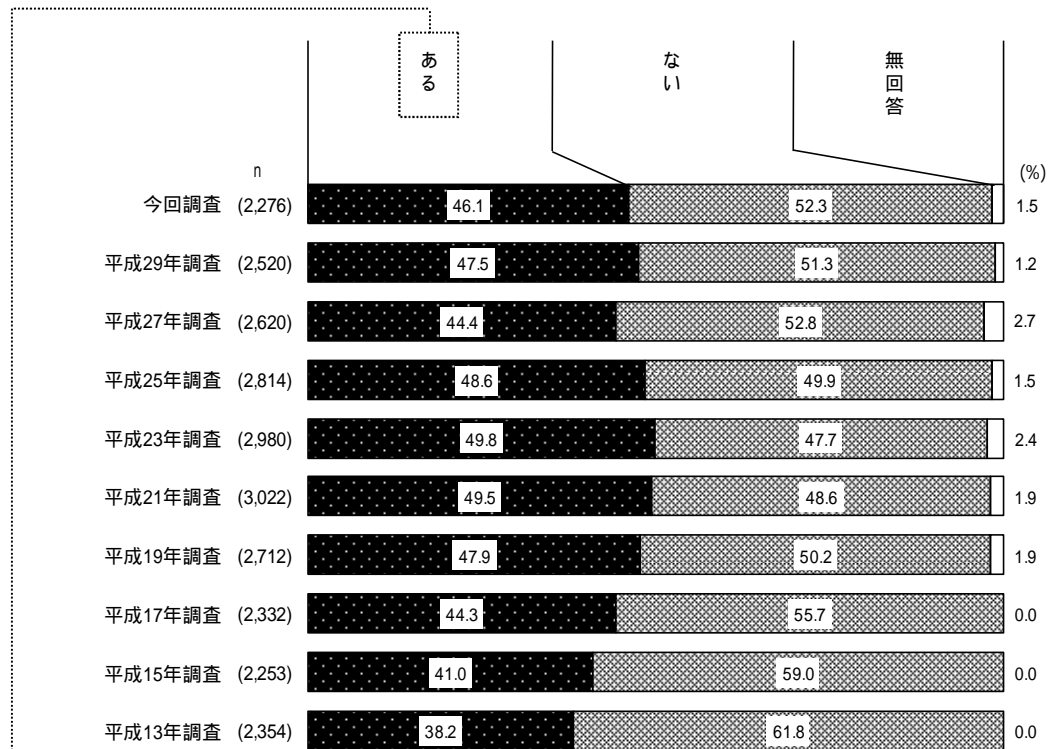
(「やや不満である」又は「不満である」とお答えの方に)
 どのような点が不満ですか。【最も当てはまるもの3つまで】



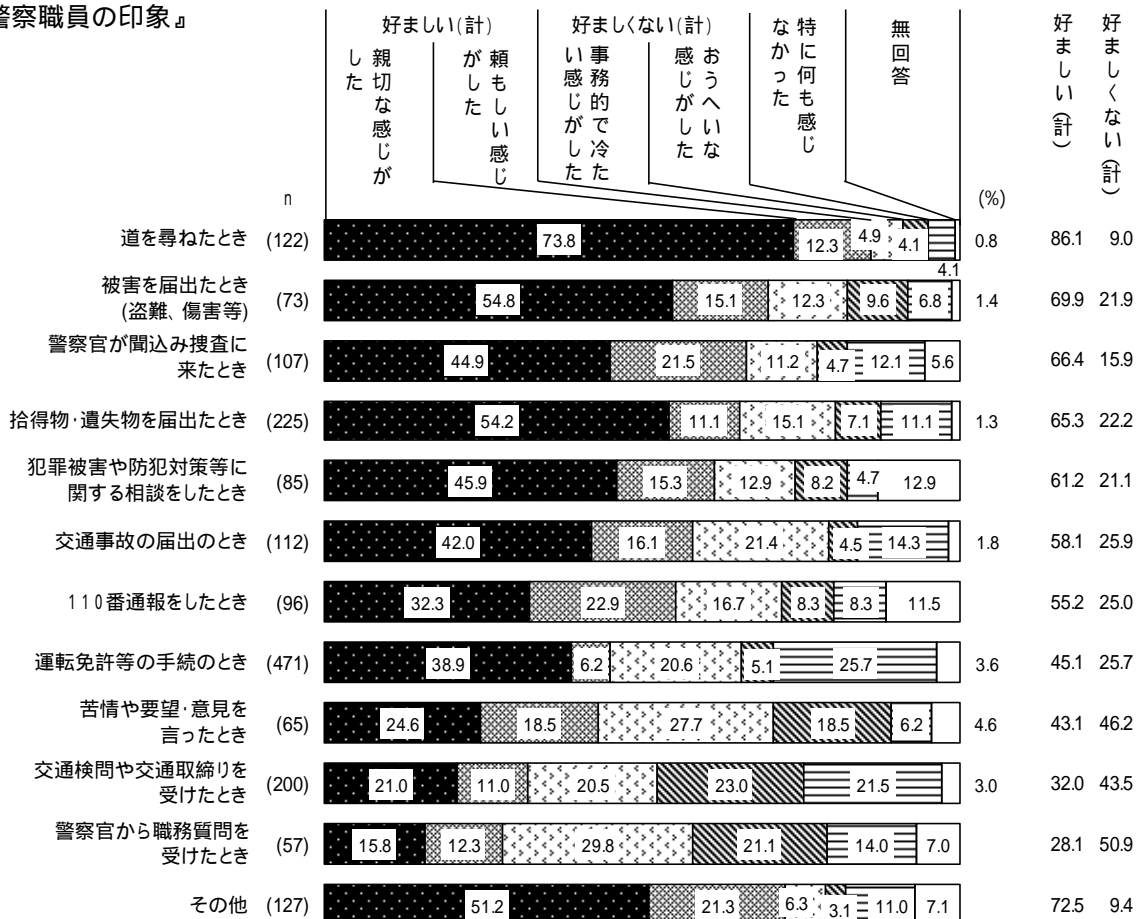
29 警察職員と接した経験

接したことが「ある」が46.1%。最も好印象なのは「道を尋ねたとき」の86.1%。

あなたは、この1～2年間に埼玉県警察職員（警察官又は警察事務職員）と接したり話したりしたことがありますか。【1つだけ】



『警察職員の印象』



県民意識調査報告書

《概要版》

令和元年 11 月発行

調査主体	埼玉県警察本部 〒330-8533 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3 丁目 15 番 1 号 電話： 048(832)0110(代)
集計・分析	株式会社 タイム・エージェント 〒150-0044 東京都渋谷区円山町 6 番 8 号松木家ビル 3 階 電話： 03(3770)6821